

CONTENTS

CHAPTER 1	Windows 7 の基本操作	5
1 ● Windows 7 の画面構成	6	
2 ● スタートボタンの操作	8	
3 ● コンピューターを使ってみよう	10	
4 ● コントロールパネルの中身	12	
5 ● ヘルプを参照するには	14	
6 ● Windows フリップと Windows フリップ 3D	16	
7 ● ガジェットについて	18	
CHAPTER 2	日本語の入力	21
8 ● ワードパッドを起動する	22	
9 ● IMEについて	24	
10 ● 日本語を入力する	26	
11 ● 文書をファイルに保存する	30	
12 ● 保存した文書を開く	32	
CHAPTER 3	ファイルとフォルダーの操作	35
13 ● フォルダーの中身を参照する	36	
14 ● ファイルやフォルダーの一覧を表示する	38	
15 ● ファイルやフォルダーを作成する	40	
16 ● ファイルやフォルダーを選択する	42	
17 ● ファイルやフォルダーを削除する	44	
18 ● ファイルやフォルダーを検索する	46	
19 ● ファイルやフォルダーの圧縮と解凍	48	
20 ● DVD にデータを書き込むには	50	
CHAPTER 4	インターネットとメール	53
21 ● Internet Explorer8.0 の起動・終了	54	
22 ● Internet Explorer8.0 の画面構成	56	
23 ● ホームページを参照する	58	
24 ● タブブラウザ機能について	60	
25 ● ホームページを「お気に入り」に登録する	62	

26 ● WindowsLive メールのインストール	64
27 ● WindowsLive メールの初回設定	68
28 ● メール本文の作成	70
29 ● メールを送信する	72
30 ● アドレス帳にメールアドレスを登録する	74
31 ● アドレス帳から宛先を入力する	76

CHAPTER 5 アプリケーションのインストールと削除 79

32 ● アプリケーションをインストールする	80
33 ● プログラムの削除	82

CHAPTER 6 写真の活用 85

34 ● デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む	86
35 ● 取り込んだ写真を閲覧する	88
36 ● 取り込んだ写真を印刷する	90

CHAPTER 7 音楽とビデオの再生 93

37 ● Windows Media Player を起動する	94
38 ● 音楽ファイルを再生する	96
39 ● 音楽 CD を再生する	98
40 ● 音楽 CD をパソコンに取り込む	100
41 ● 音楽を CD-R にコピーする	102
42 ● DVD にビデオファイルを書き込む	104
43 ● Windows Media Center の起動	106
44 ● Windows Media Center で音楽を再生する	108
45 ● Windows Media Center で動画を再生する	110
46 ● Windows Media Center で写真を閲覧する	112

CHAPTER 8 Windows の各種設定 115

47 ● 画面の解像度や色数を設定する	116
48 ● デスクトップの背景を設定する	118
49 ● スクリーンセーバーを設定する	120
50 ● 日付と時刻を設定する	122
51 ● デスクトップにショートカットを作成する	124
52 ● ユーザーアカウントを追加する	126

53 ● ユーザーアカウントの設定を変更する	130
54 ● ファイルやフォルダの共有	132

CHAPTER 9 Windows のメンテナンス 135

55 ● セキュリティセンターについて	136
56 ● WindowsUpdate について	138
57 ● Windows ファイアウォールの設定	140
58 ● システムの復元を利用する	142
59 ● ハードディスクを最適化する	144

Windows 7 の 基本操作

本章では、Windows 7 の画面構成および基本操作について説明します。

1 ● Windows7 の画面構成	6
2 ● スタートボタンの操作	8
3 ● コンピューターを使ってみよう	10
4 ● コントロールパネルの中身	12
5 ● ヘルプを参照するには	14
6 ● Windows フリップと Windows フリップ 3D ..	16
7 ● ガジェットについて	18

1

Windows7 の画面構成

パソコンを起動すると、Windows7 のデスクトップ画面が表示されます。すべての作業の基本となるデスクトップの画面をみてみましょう。

- Windows7 のデスクトップ画面を確認する。
- アイコンの機能を確認する。

Windows7 のデスクトップ画面

デスクトップ

Windows の画面全体がデスクトップです。画面を机の上と仮定し、このように呼びます。

ごみ箱

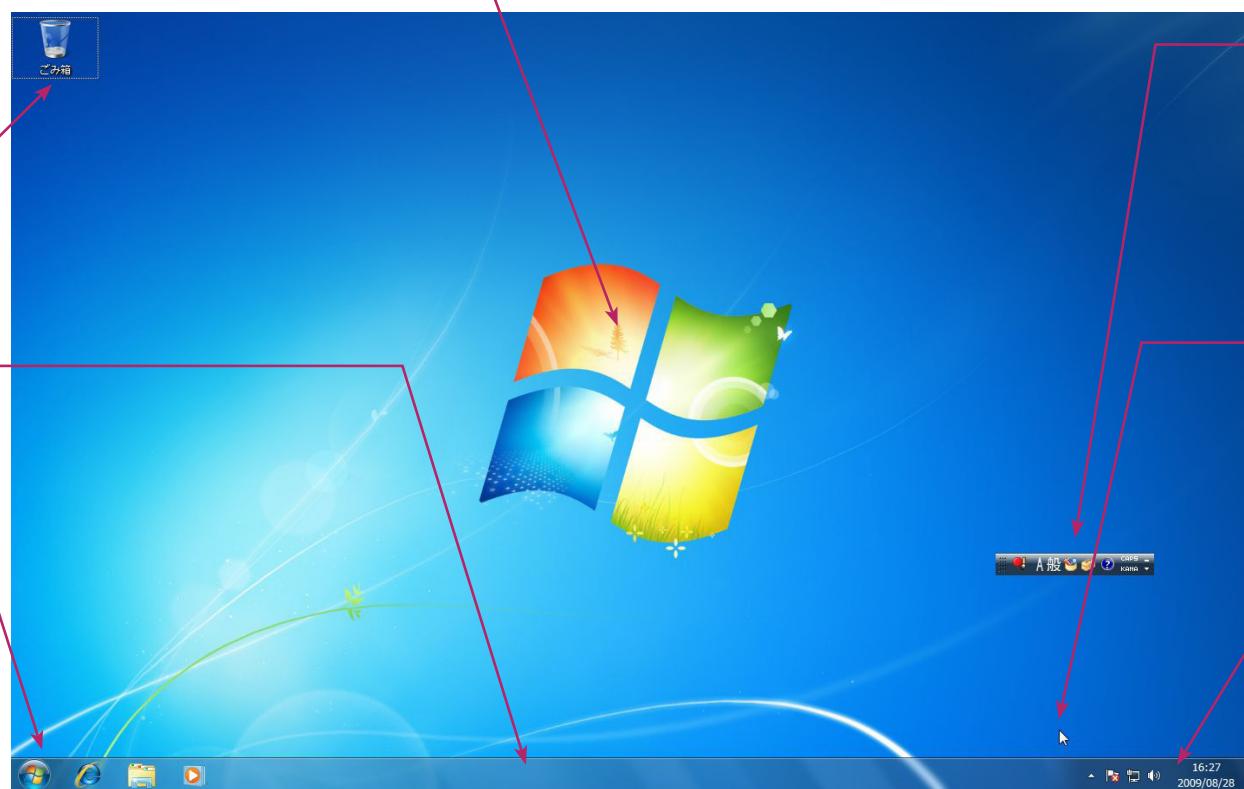
不必要的ファイル・フォルダをこのごみ箱にドラッグし、削除することができます。

タスクバー

画面の最下段にあるバーです。スタートボタン、通知領域などがあります。

スタートボタン

スタートボタンをクリックすることにより、[スタート] メニューが表示されます。[スタートメニュー] はプログラムの起動、フォルダの参照、各種設定などに使います。



言語バー

日本語入力の設定をするためのツールバーです。

マウスポインタ

ファイル・フォルダの選択、アプリケーションの指定などに使います。マウスで動かすことが出来ます。

通知領域

常駐プログラムの起動状態、Windows セキュリティセンターからの通知などを表示します。

2

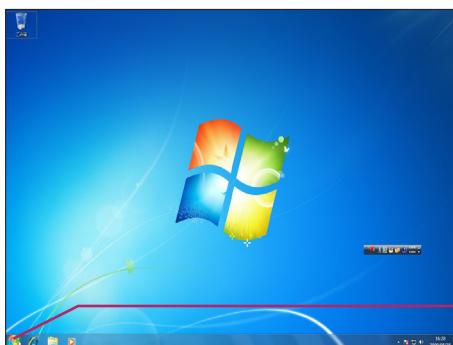
スタートボタンの操作

画面左下にある[スタート]ボタンをクリックすると、プログラムの起動、Windowsの終了などを行う[スタート]メニューが表示されます。

- [スタート]メニューの項目を確認しよう。
- [スタート]メニューからプログラムを起動しよう。

スタートメニューを表示する

step 1 [スタート]ボタンをクリックする



Windows7を起動します

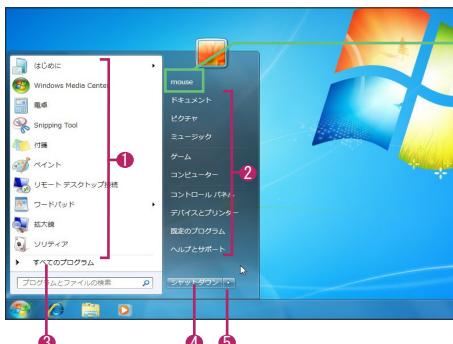
[スタート]ボタンをクリック

ショートカット

[スタート]メニューの表示

キーボードの[Windows]キーを押すことにより、最初のスタートメニューを表示することができます。

step 2 [スタート]メニューが表示された



ここにユーザー名が表示されます

- ①ここに最近使用したプログラムが表示されます
- ②よく使うファイルにアクセスしたり、各種設定を行います
- ③すべてのプログラム：アプリケーション選択し起動します
- ④シャットダウン：PCの電源を切ります
- ⑤電源オプション：電源操作を行います

プログラムを起動する

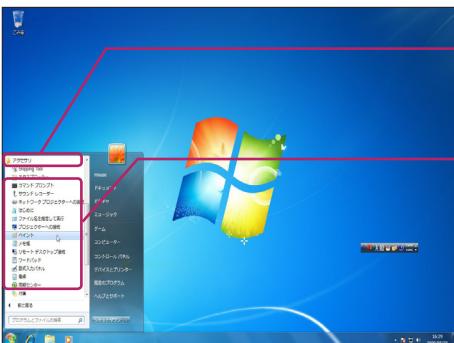
step 1 [スタート]ボタンをクリックする



[スタート]メニューを表示します

[すべてのプログラム]をクリック

step 2 開きたいプログラムをクリックする



[アクセサリ]をクリック。

開きたいプログラムをクリックすると、プログラムが起動する。

ワンポイント

サブメニューについて
左の例の場合、「アクセサリ」フォルダーをクリックすることで、そのサブメニューが現れています。このように、「すべてのプログラム」においてはサブメニューが階層表示されます。

3

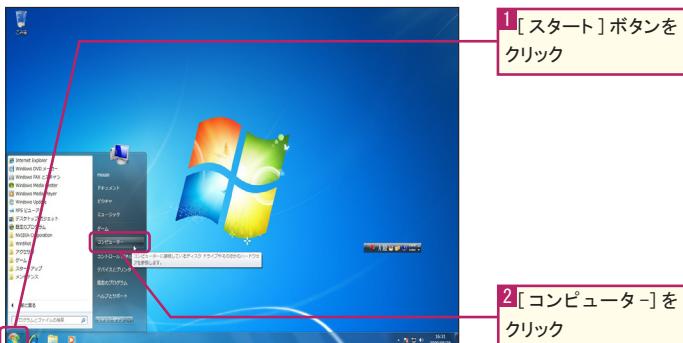
コンピューターを使ってみよう

[コンピューター]は、自分のコンピュータの内容を反映、操作するものです。ここでは、パソコンに接続されている記憶装置の状況を見ることが出来ます。

- [コンピューター]を開く
- ローカルディスクの内容を確認する

[コンピューター]を開く

step 1 [スタート]メニューから[コンピューター]をクリックする



step 2 [コンピューター]が開いた。



注意

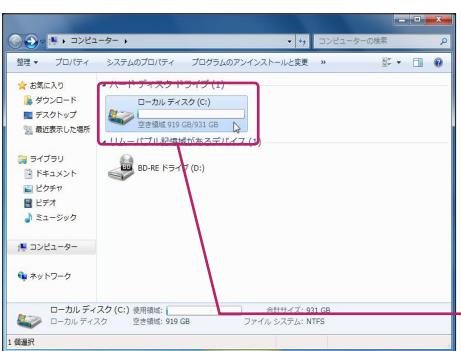
[コンピューター]の中身はパソコンごとに違う

[コンピューター]の中身は使用しているパソコンのハードウェア構成が反映されます。必ずしも本書と同じにはなりませんので注意してください。

[コンピューター]が開きました

- ① [システムのプロパティ]を開きます
- ② プログラムをアンインストールします。
- ③ ハードディスクがここに表示されます。
- ④ DVD-RW ドライブ、フロッピードライブ、カードリーダー、USBメモリなどの、リムーバブルディスクがここに表示されます。

step 3 [ローカルディスク]を開く

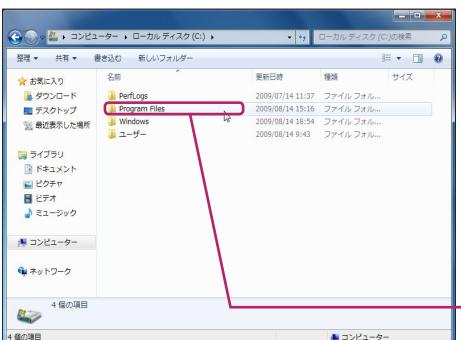


ハードディスクの中身を見てみましょう

ワンポイント

ドライブとは
ドライブとは、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM・R/RW、DVD-ROM・R/RW、USBメモリなどの記憶装置の総称です。ドライブにはA・B・Cというように、[ドライブ文字]が割り当てられています。

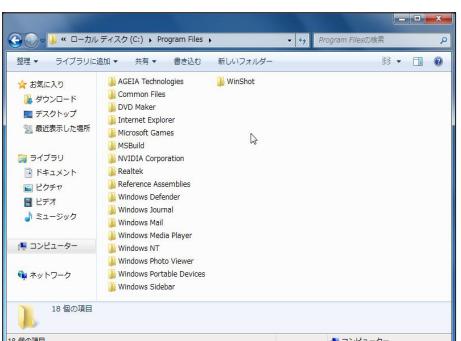
step 4 フォルダーの内容を表示する



ドライブCの内容が表示されました

[Program Files] のフォルダーをダブルクリック

step 5 フォルダの中身が表示された



[Program Files] の中身が表示された

4

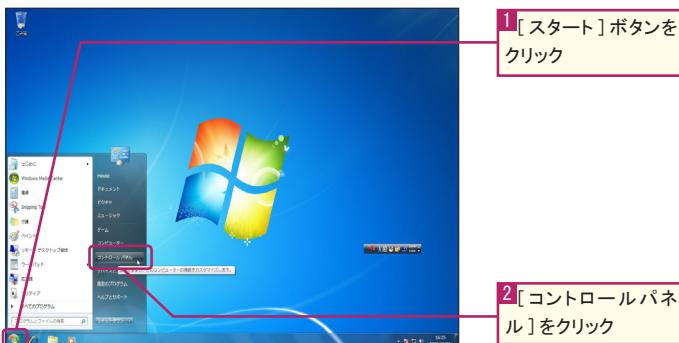
コントロールパネルの中身

Windows7のほぼ全ての機能は[コントロールパネル]より、利用環境の設定を行うことが出来ます。

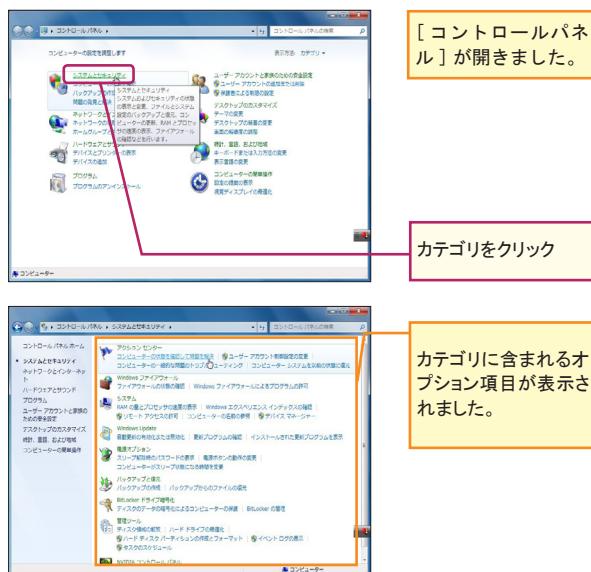
- コントロールパネルから項目を選択
- コントロールパネル項目一覧

[コントロールパネル]を起動する

step 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]を起動



step 2 カテゴリを選択する



ワンポイント

コントロールパネルとは

Windowsの各種基本設定、通信やネットワークに関する設定や、ディスプレイやマウス、キーボード、プリンタ、音声など入出力に関する設定などをを行うソフトウェアが集められたメニューです。

コントロールパネルの機能一覧



①システムとセキュリティ

コンピュータの状態を確認したり、各種セキュリティ昨日の設定を行います。

②ネットワークとインターネット

ネットワーク、およびインターネット接続に関する設定を行います。

③ハードウェアとサウンド

音声再生、および各種周辺機器に関する設定を行います。

④プログラム

プログラムの削除、およびスタートアッププログラムの変更を行います。

⑤ユーザー アカウントと家族のための安全設計

ユーザー アカウントの管理、設定変更、および各ユーザーのアクセス権変更などを行います。

⑥デスクトップのカスタマイズ

デスクトップの背景、色の変更、解像度などの変更を行います。

⑦時計、言語、および地域

時計の時刻設定、使用する言語・地域の設定を行います。

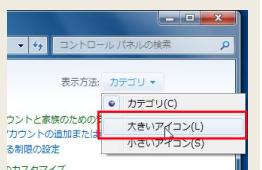
⑧コンピュータの簡単操作

コンピュータの簡単操作に関する設定、および視覚ディスプレイの最適化を行います。

テクニック

コントロールパネルをクラシック表示に変更する。

コントロールパネルは初期状態だとカテゴリー別に表示されています。以前のWindowsと同じように一覧表示させるには、[表示方法]⇒[大きいアイコン]をクリックします。



▲[大きいアイコン]をクリック



▲アイコン表示に切り替わる

6

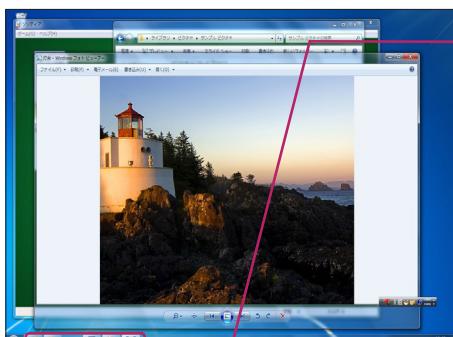
Windows フリップと Windows フリップ 3D

複数のウィンドウの切り替えには、Windows フリップを使用すると便利です。
3D 表示の Windows フリップ 3D もあります

- Windows フリップでウィンドウを切り替える
- Windows フリップ 3D でウィンドウを切り替える

Windows フリップで Window を切り替える

step 1 複数ウィンドウを立ち上げる



ウインドウを複数起動しておきます

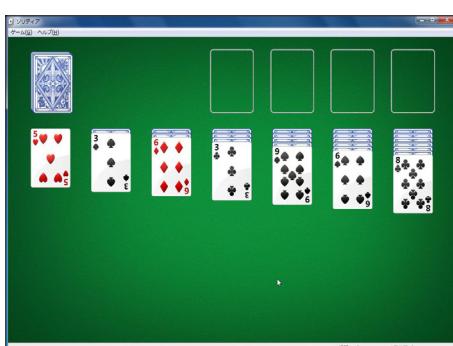
[Alt] キーを押しながら [Tab] キーを押します

step 2 Windows フリップが表示される



[Alt] キーを押したまま、先頭に表示させたいウィンドウまで [Tab] キーで移動し、[Alt] キーを離します

step 3 選択したウィンドウが先頭に表示されます



選択したウィンドウが先頭に表示されます

ワンポイント

Windows フリップ 3D と Windows フリップ

Windows フリップ 3D は、派手な視覚効果でウィンドウをわかりやすく切り替えできるので非常に便利ですが、その反面パソコンのビデオメモリを大量に必要とします。Windows フリップ 3D 操作時に、パソコンの動作がもたつくようであれば、Windows フリップ 3D ではなく、Windows フリップを使用してください。

ワンポイント

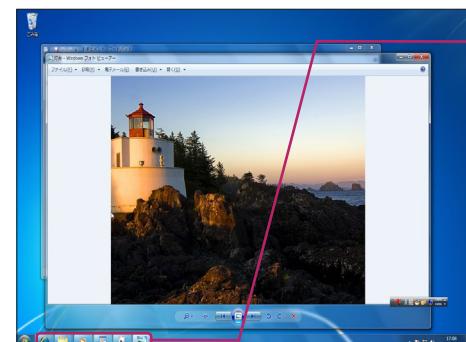
Windows フリップ 3D を開いたままにする

フリップ 3D を使用する方法には、[Ctrl] キー + [Windows] キー + [Tab] キーを押して、フリップ 3D を開いたままにしておく方法もあります。次に、Tab キーを押してウィンドウを順番に切り替えます。右方向キーまたは下方向キーを押して前のウィンドウに進んだり、左方向キーまたは上方向キーを押して前のウィンドウに戻ったりすることもできます。フリップ 3D を閉じるには、Esc キーを押します。

同様に、[Ctrl] キー + [Alt] キー + [Tab] キーを押して、フリップを開いたままにしておく方法もあります。

Windows フリップ 3D で Window を切り替える

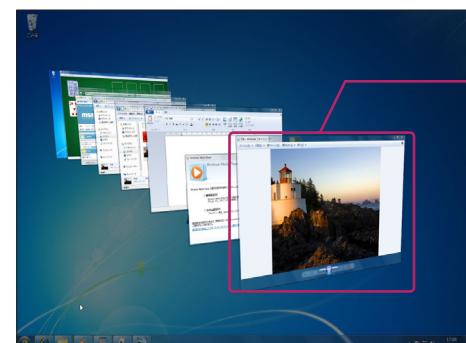
step 1 複数ウィンドウを立ち上げる



ウインドウを複数起動しておきます

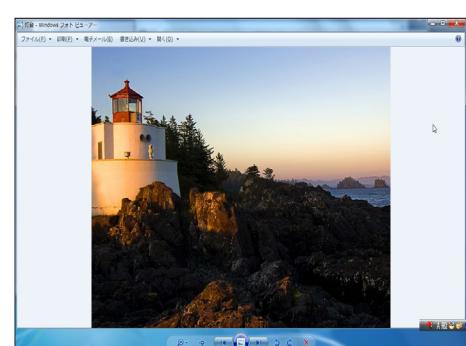
[Windows] キーを押しながら [Tab] キーを押します

step 2 Windows フリップ 3D が表示される



[Windows] キーを押したまま、先頭に表示させたいウィンドウまで [Tab] キーで移動し、[Alt] キーを離します

step 3 選択したウィンドウが先頭に表示されます



選択したウィンドウが先頭に表示されます

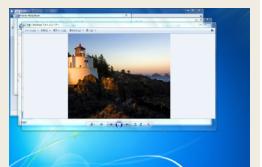
ワンポイント

複数ウィンドウを整列する

タスクバーの何もないところを右クリックすると、ウィンドウの整列メニューが表示されます。ここから、任意の整列方法を選択することで、ウィンドウを整列することができます。



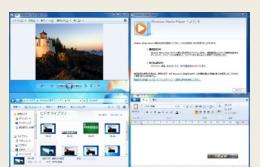
▲ ウィンドウの整列メニュー



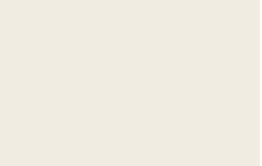
▲ [重ねて表示]



▲ [ウインドウを上下に並べて表示]



▲ [ウインドウを左右に並べて表示]



7

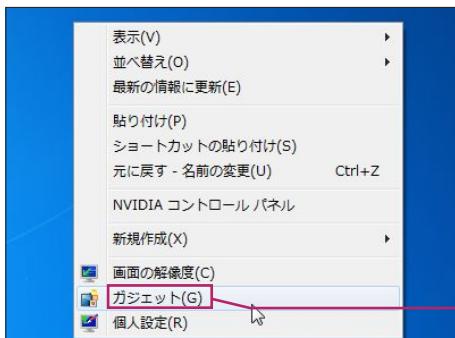
ガジェットについて

Windows7では、デスクトップ上に「ガジェット」と呼ばれるプログラムを配置して、様々な機能を持たせることができます。

- デスクトップ上にガジェットを配置する
- ガジェットの種類

Windowsサイドバーにガジェットを追加する

step 1 デスクトップ上の何もないところで右クリック



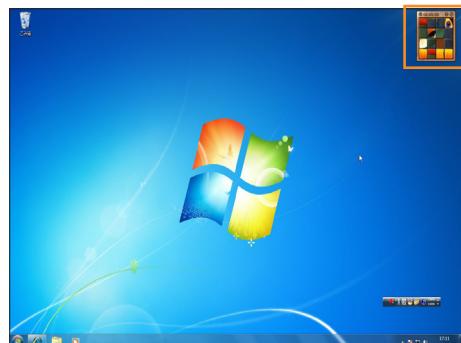
ワンポイント

ガジェットとは
ガジェットとは、本来「小道具」を表す言葉です。Windows7では、デスクトップ上に配置可能なちょっとしたアプリケーションのことを「ガジェット」と呼んでいます。

step 2 追加できるガジェットの一覧が表示される



step 3 選択したガジェットが追加された



ワンポイント

ガジェットの種類
ガジェットには様々な種類のものがあり、好みに合わせて複数配置可能です。主なガジェットには以下のようないがあります。

① CPUメーター
現在のCPUの消費率を随時表示する

② Windows MediaCenter
ガジェット内で、TV、音楽、ビデオの再生を行うことができる。

③ カレンダー
カレンダーを表示する

④ スライドショー
パソコンに保存されている写真をスライドショーで表示する

⑤ ピクチャパズル
1つだけあいているマスを利用してタイルを動かし、一つの絵を完成させるパズル。

⑥ フィードヘッダー
インターネット経由でニュースのヘッドラインを表示する

⑦ 時計
アナログ表示の時計。

⑧ 通貨換算
インターネット経由で参照している最新のレートで、通貨換算をすることが出来る。

⑨ 天気
特定の場所の天気を表示するツール

CHAPTER 2

日本語の入力

本章では、ワードパッドを使った日本語入力、および文書ファイルの保存について説明します。

8 ●ワードパッドを起動する	22
9 ●IMEについて	24
10 ●日本語を入力する	26
11 ●文書をファイルに保存する	30
12 ●保存した文書を開く	32

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

7

8

9

8

ワードパッドを起動する

ワードパッドはWindows標準搭載のワープロソフトです。ワードパッドを起動してみましょう

- ワードパッドを起動する
- [アクセサリ]内のソフトを確認する

ワードパッドの起動

step 1 [スタート]ボタンをクリックする



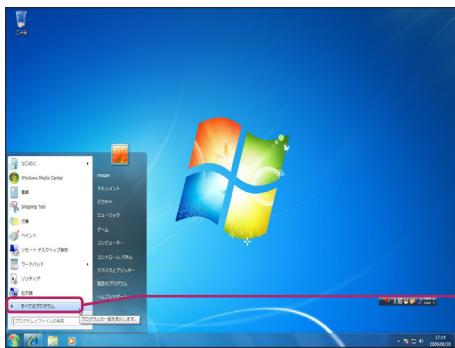
[スタート]メニューからワードパッドを起動します

[スタート]ボタンをクリック

ワンポイント

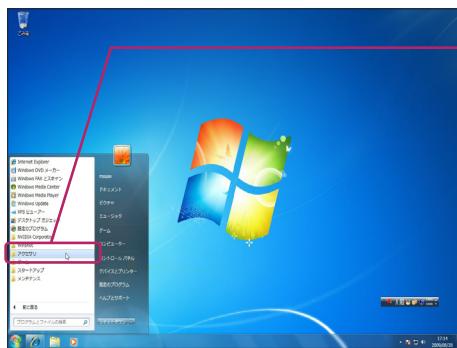
アクセサリソフト
Windows7には「ワードパッド」の他に、お絵かきソフトの「ペイント」、テキストエディタの「メモ帳」、「電卓」などいくつかのアクセサリが付属しています。

step 2 [スタート]メニューが表示される



[すべてのプログラム]をクリック

step 3 プログラムの一覧が表示される



[アクセサリ]をクリックする。

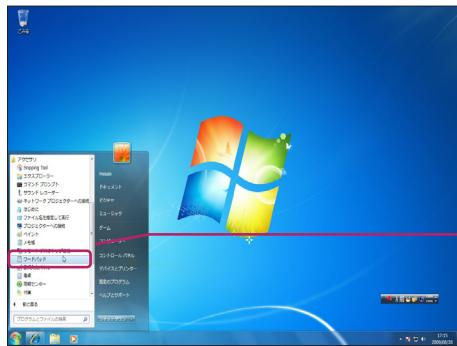
ワンポイント

ペイント
[スタート]⇒[すべてのプログラム]⇒[アクセサリ]⇒[ペイント]で、ペイントが起動します。



△絵を描くことが出来ます。

step 5 起動する項目をクリックする

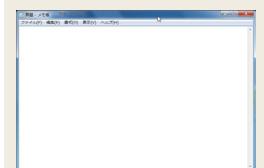


[ワードパッド]が表示されました

[ワードパッド]をクリック

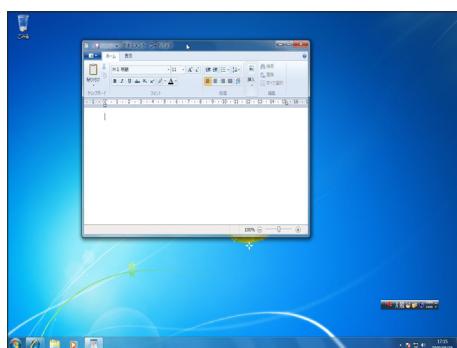
ワンポイント

メモ帳
[スタート]⇒[すべてのプログラム]⇒[アクセサリ]⇒[メモ帳]で、メモ帳が起動します。



△テキストエディタ

step 5 ワードパッドが起動する



ワードパッドが起動します

ワンポイント

電卓
[スタート]⇒[すべてのプログラム]⇒[アクセサリ]⇒[電卓]で、電卓が起動します。



△複雑な計算も可能

9

IMEについて

IMEとは、日本語入力を制御するためのソフトです。IMEの基本について見てみましょう。

- IMEの役割を確認する
- IMEを有効にする

IMEを有効にする

step 1 デスクトップ上の言語バーの[A]をクリックする

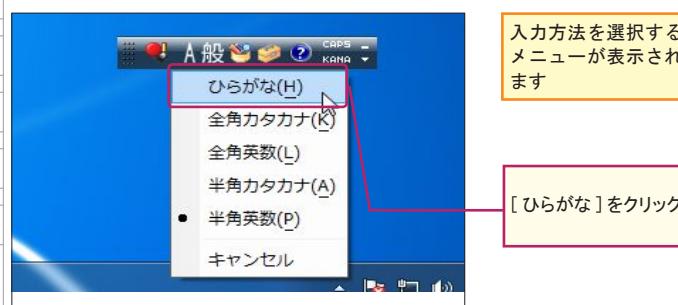


ワンポイント

日本語入力にはIMEが必須

日本語入力する際にはかな漢字変換という作業が必須です。この作業を行うのがIMEであり、Windowsには標準で搭載されています。

step 2 メニューが表示される



ワンポイント

言語バー

デスクトップの右下には言語バーが表示されています。言語バーは、IMEの状態を確認したり、設定を変更する際に使用します。

step 3 IMEが有効になる



ワンポイント

IMEを有効にする

日本語を入力する際には、IMEを有効にする必要があります。IMEが有効になっていいるときは、言語バーの左端に「あ」と表示されます。

言語バーの詳細



①入力方式

IMEのプロパティを表示・変更するときなどに使用します。

②入力モード

入力する文字の種類を選択します。「ひらがな」「全角カタカナ」「全角英数」「半角カタカナ」「半角英数」「直接入力」のどれかを選択できます。「直接入力」を選択した場合には、キーボード上の文字が直接入力できます。

③変換モード

優先的に変換する候補を選択します。通常は「一般」を選択しますが、人名や地名を優先したい場合には、「人名／地名」を、話し言葉を優先的に変換したい場合には「話し言葉」を、かなやローマ字を確定した状態で入力するには「無変換」を選択します。

④IMEパッド

読み方のわからない漢字を、手書きや絵画数、部首、音声入力などをの方法で入力します。

⑤ツール

単語や用例を辞書に登録するときなどに使用します。

⑥ヘルプ

ヘルプを表示します

⑦CAPS/KANA

[CAPS]キー、[カナ]キーのロック状態を表示、切り替えを行います。

⑧最小化

最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

⑨最小化

最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

ショートカット

IMEの有効・無効の切り替え
[半角／全角]キーを押すたびに、IMEの有効／無効が切り替えられます。

テクニック

言語バーをタスクバーに納める

言語バーの右端にある最小化ボタンをクリックすると、言語バーはタスクバー内に収まります。タスクバー内に収まるとき、最小化ボタンは復元ボタンに変わり、これをクリックすると戻ります



▲最小化ボタンをクリック



▲タスクバーに言語バーが格納され、最小化ボタンが復元ボタンに代わる。

10

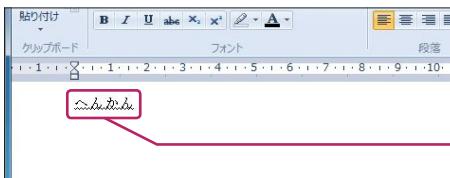
日本語を入力する

IMEが有効になっていることを確認し、ワードパッドに日本語を入力し、文書を作成してみましょう。

- 入力した文字を変換する
- 少し長めの文を入力する
- カタカナ・英字を入力する

文字の入力、変換をおこなう

step 1 ワードパッドに文字を入力する

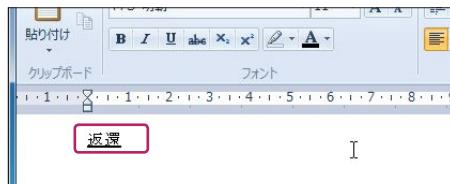


例として「変換」と入力してみましょう

キーボードから「HENKAN」と入力

読みが入力されます

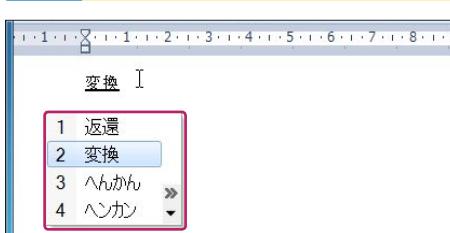
step 2 文字を変換する



スペースキーを押します

最初の変換候補に変換されます

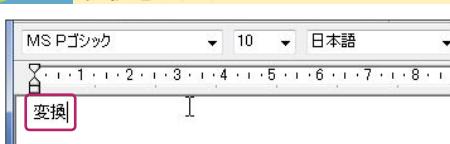
step 3 変換候補を選択する



スペースキーを押します

次の変換候補に変換されます

step 4 変換を確定する



「Enter」キーを押します

入力が確定しました

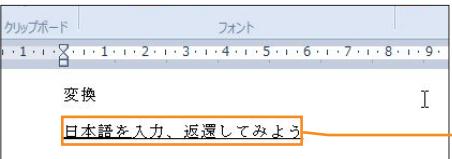
少し長めの文を入力する

step 1 キーボードから文字を入力する



例として「日本語を入力、変換してみよう」と入力してみましょう

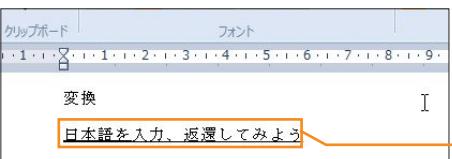
1 キーボードから文字を入力



2 スペースキーを押す

読みがなが漢字変換されました

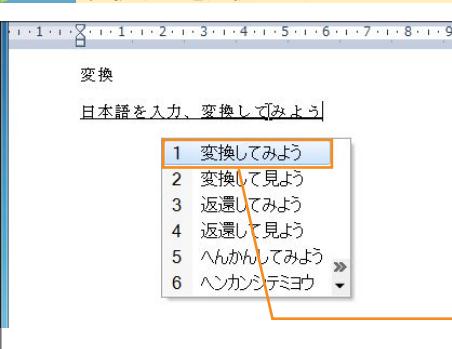
step 2 文節の変換を変更する



「→」キーを押します

「返還してみよう」が選択されます

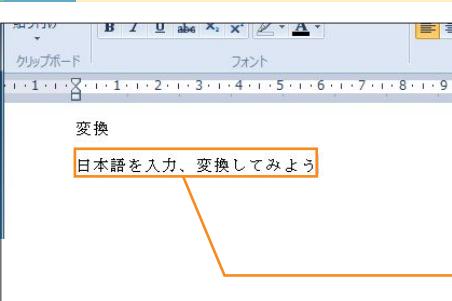
step 3 変換候補を選択します



スペースキーを押します

選択した文節が、次の候補に変換されます

step 4 変換が確定する



「Enter」キーを押します

文全体の変換が確定します

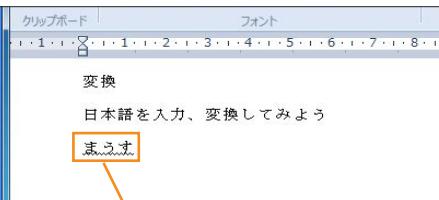
ワンポイント

ローマ字入力とかな入力

日本語をキーボードから入力するには、ローマ字入力か、かな入力から選択することになります。かな入力は、キーボードに印字されているかなを直接入力していく方式なので、キーボードをタイプする回数が少なくてすみますが、その分覚えるキーの数が多くなります。覚えるキーの数が少なくてすむローマ字入力の方が入力速度が速くなるので、本書ではローマ字入力を推奨します。

カタカナや英字を入力する

step 1 キーボードから文字を入力



まず、間違った単語を入力して、それを修正してみましょう。

キーボードから「mausu」と入力

「まうす」と入力されます

ワンポイント

ファンクションキーを使った変換
スペースキーでの変換以外に、[F6]～[F10]キーを押すことでも、文字を変換することが出来ます。カタカナ、英字に変換する場合は、スペースキーを押して変換候補を選択するより、ファンクションキーで変換した方が効率的です。各ファンクションキーの変換候補は以下のとおりです。

[F6] キー
ひらがなに変換

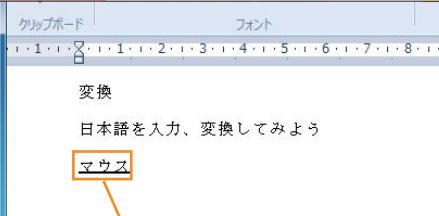
[F7] キー
全角カタカナに変換

[F8] キー
半角カタカナに変換

[F9] キー
全角英字に変換

[F10] キー
半角英字に変換

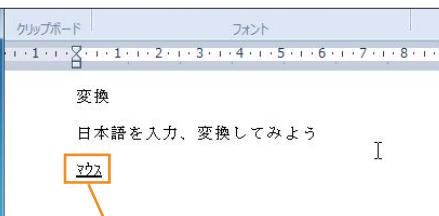
step 2 全角カタカナに変換



「F7」キーを押します

全角カタカナに変換されます

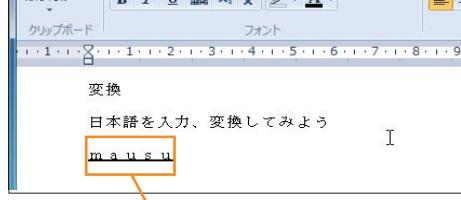
step 3 半角カタカナに変換



「F8」キーを押します

半角カタカナに変換されます

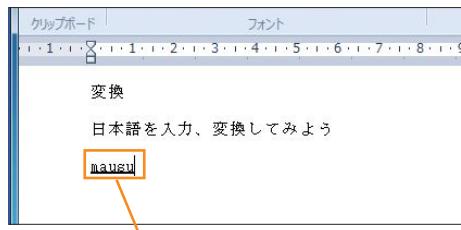
step 4 全角英字に変換



「F9」キーを押します

全角英字に変換されます

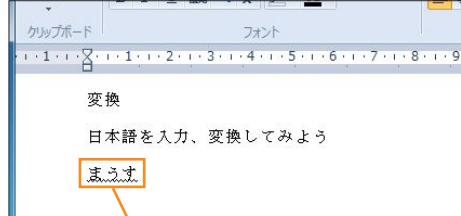
step 5 半角英字に変換



「F10」キーを押します

半角英字に変換されます

step 6 ひらがなに変換

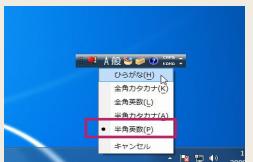


「F6」キーを押します

ひらがなに戻ります

ワンポイント

はじめから入力文字を決めておくには
言語バーの「あ」をクリックすると、入力文字の種類を選択できます。例えば「半角英数」を選択した場合、言語バーには「A」と表示され、この状態で入力した文字は、半角英数になります。



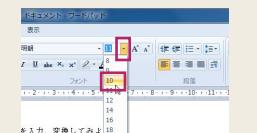
△ 入力文字種類を選択

テクニック

フォントの設定
フォントの変更を行うには、画面上部のフォント名の横にあるボタンをクリックし、選択する。



△ フォントの変更



△ サイズの変更

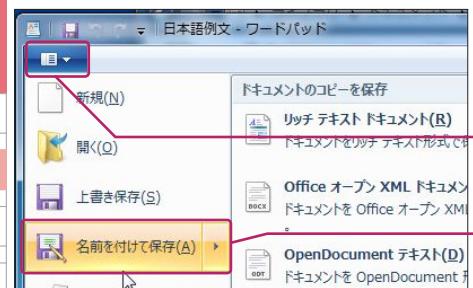
11 文書をファイルに保存する

文書を作成しても、そのまま終了すると文書は消えてしまいます。文書を後ほど再度開きたい場合は、ファイルの保存が必要です。

- 作成した文書をファイルに保存する
- ワードパッドの終了

ファイルに保存する

step 1 [ファイル] → [名前をつけて保存] を選択する



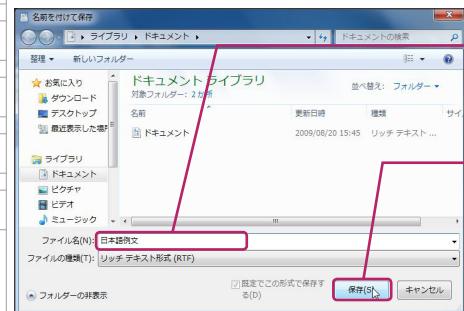
- 1 [ファイル]ボタンをクリック
- 2 [名前をつけて保存]をクリック

ワンポイント

文書の保存

作成した文書は、次回以降、内容を保持したまま閲覧、編集を行うために保存が必要です。また、突然のアプリケーションの終了など予期せぬトラブルの際に文書を保存していないと、一から文書を作り直すことにもなりかねません。作成した文書は、適切な名前をつけて、こまめに保存を行いましょう。

step 2 [名前をつけて保存] の画面が表示される



- 1 ファイル名を入力します
- 2 [保存]をクリック

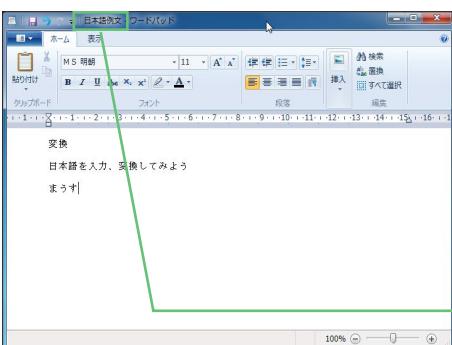
作成した文書が保存されます。

ワンポイント

ファイル名について

ファイル名の最大長は、半角で 255 文字、全角で 127 文字までとなっています。また、『』￥／＊？◇等の文字は、ファイル名に使用することは出来ません。

step 4 文書が保存される



タイトルバーに文書の名前が表示されます

テクニック

プログラムを終了する方法

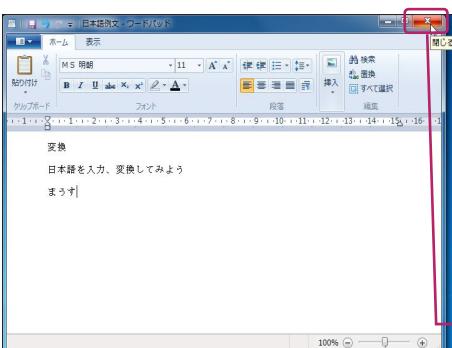
[ファイル]メニューから「終了」をクリックすることでも、ワードパッドを閉じることができます。



▲ [ワードパッドの終了]をクリック

ワードパッドを閉じる

step 1 [閉じる]ボタンをクリック



ワードパッドを閉じましょ

ワンポイント

保存前に閉じるボタンを押す

文書を保存する前に、ワードパッドを閉じようとする、下のようなダイアログボックスが表示されます。「保存する」をクリックすることにより、文書を保存してからワードパッドを閉じることができます。



[閉じる]ボタンをクリックする

step 2 ワードパッドが終了する



ワードパッドが閉じました

12

保存した文書を開く

保存した文書は、好きなときに開いて編集することが出来ます。保存した文書を開いてみましょう。

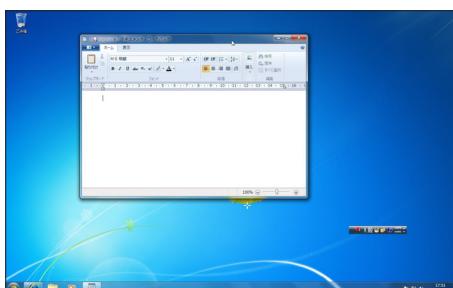
保存した文書を開く

ワードパッドを起動

step 1 [スタート] ⇒ [ワードパッド]を選択



step 2 ワードパッドが起動する



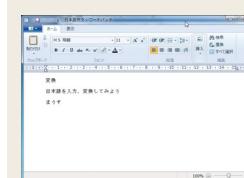
テクニック

保存した文書を開く別の方法

ここで示した方法以外にも、ファイルが保存されているフォルダを開き、開きたいファイルを直接ダブルクリックすることで、関連付けられたアプリケーションが自動的に起動し、ファイルを開くことが出来ます。



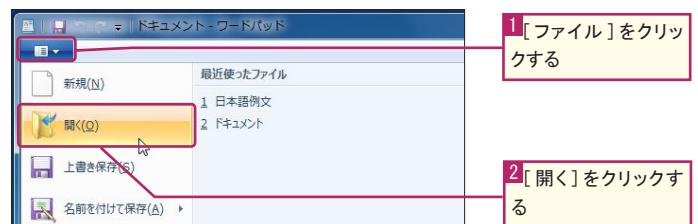
△開きたいファイルを直接ダブルクリックする



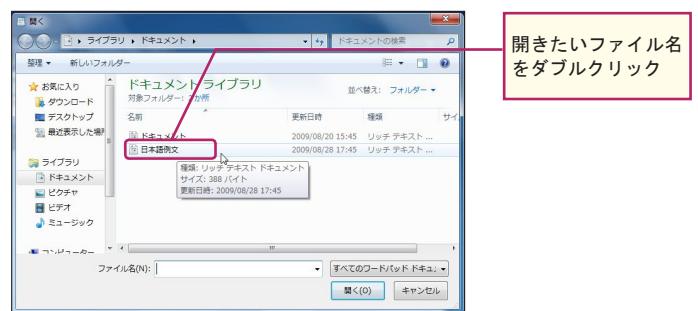
△ファイルが開く

保存してある文書を開く

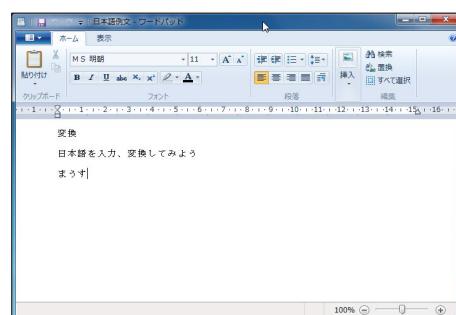
step 1 [ファイル]から[開く]を選択する



step 2 [開く]ダイアログボックスが表示される



step 3 選択したファイルが開きます



選択したファイルが開きました

ワンポイント

ワードの文書も開くことが出来る

ワードパッドでは、Wordで作成したdocファイルも開くことが可能です。また、メモ帳などで作成したテキストファイル(txtファイル)も読み込み可能です。テキストファイルをワードパッドに読み込んだ後、フォントの変更、レイアウトの調整などを行うことも可能なので、本文のみを先にメモ帳などで作成しておき、全体的なレイアウトを後からワードパッドで行うといった使い方も可能です。

CHAPTER 3

ファイルと フォルダの操作

本章では、ファイルとフォルダの参照、表示、作成、選択、削除、検索、圧縮および解凍、データをDVDに書き込む方法を説明します。

13 ● フォルダの中身を参照する	36
14 ● ファイルやフォルダの一覧を表示する	38
15 ● ファイルやフォルダを作成する	40
16 ● ファイルやフォルダを選択する	42
17 ● ファイルやフォルダを削除する	44
18 ● ファイルやフォルダを検索する	46
19 ● ファイルやフォルダの圧縮と解凍	48
20 ● DVDにデータを書き込むには	50

13 フォルダーの中身を参照する

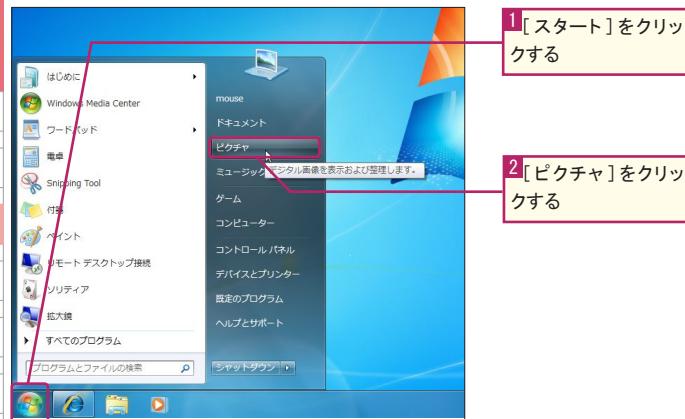
フォルダーの中身を参照する

フォルダーをダブルクリックすることで、フォルダーの中身を参照することが出来ます。この作業が「フォルダーを開く」です。

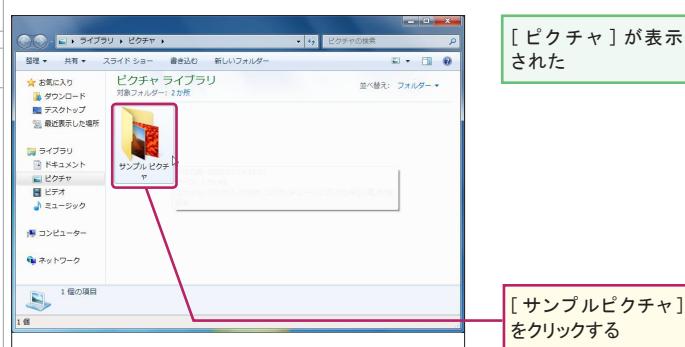
- フォルダーを開いて中身を参照する
- [進む][戻る]のボタンでのフォルダーモード

フォルダーの内容を参照する

step 1 [スタート] ⇒ 「ピクチャ」を選択



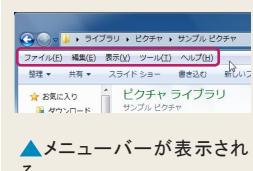
step 2 [ピクチャ]が開いた



ワンポイント

フォルダーのメニューの表示

画面上部に、フォルダーメニューを表示するには、「Alt」キーを押します。



step 3 [サンプルピクチャ] フォルダが開く



[サンプルピクチャ] フォルダの内容が表示されました

テクニック

フォルダごとに、新しいウィンドウを開いて表示する

[ツール] ⇒ [フォルダオプション]を選択し、[全般]タブの中の「フォルダの参照」で「フォルダーを開くたびに新しいウィンドウを作る」にチェックを入れると、フォルダーを開くたびに新しいウィンドウが開くようになります。

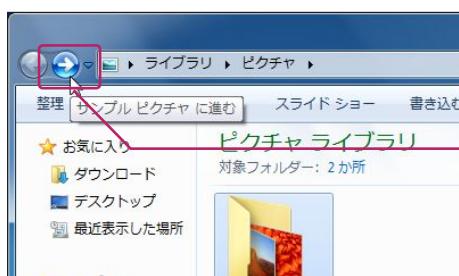
[戻る][進む]ボタンでのフォルダの移動

step 1 [戻る]ボタンをクリック

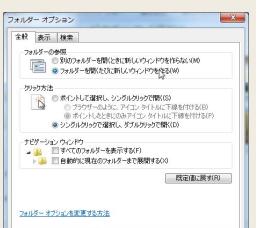


一つ前のフォルダに表示を戻してみましょう

step 2 一つ前のフォルダが表示される



▲ [フォルダオプション] をクリック



▲ [フォルダを開いたたびに新しいウィンドウを作成する]にチェックを入れる

14 ファイルやフォルダーの一覧を表示する

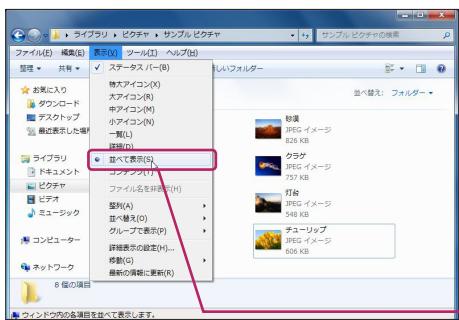
ファイルやフォルダーをダブルクリックすると、内容の一覧が表示されます。表示方法には、様々なものがあります。

- ファイルやフォルダーの各表示形式について
- ファイルやフォルダーの表示方法の変更について
- データの並び替え・自動整列

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

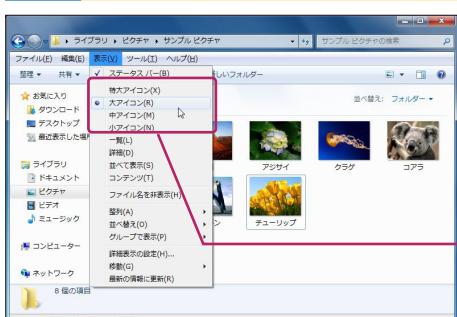
ファイル・フォルダーの表示形式

step 1 並べて表示



ファイルやフォルダーが整列して表示されます

step 2 アイコン



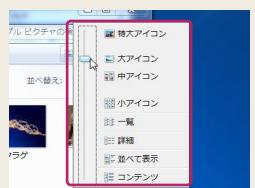
ファイルやフォルダーがアイコンとして表示されます

- [表示]メニューより、
 - ・[特大アイコン]
 - ・[大アイコン]
 - ・[中アイコン]
 - ・[小アイコン]

テクニック

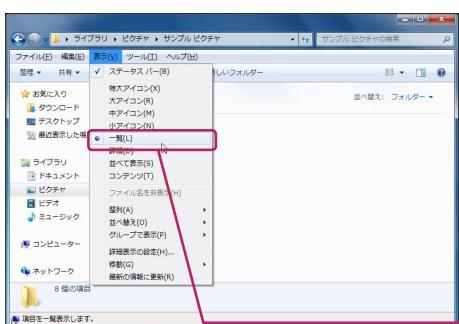
ツールバーの表示スライダーから表示形式を選択する

ツールバーの[表示]ボタンをクリックし、[表示スライダー]で表示形式を切り替えることも出来ます。



▲[表示]ボタンと[表示スライダー]

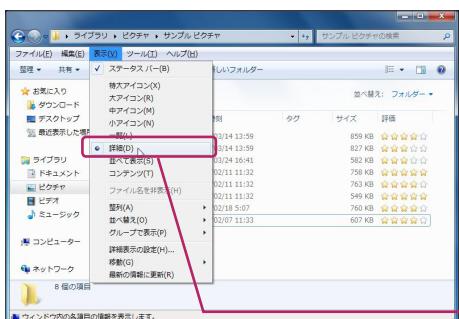
step 3 一覧



ファイルやフォルダーの表示が小さくなり、一覧として表示されます

[表示]メニューより、[一覧]を選択

step 4 詳細



ファイルやフォルダーの形式やサイズなどを詳細表示します

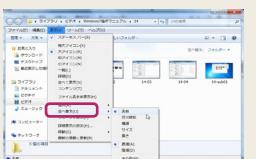
[表示]メニューより、[並べて表示]を選択

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

テクニック

データの並び替え

[表示]メニュー⇒[並び替え]により、ファイルを並び替えることが出来ます。[名前][サイズ]、[撮影日][タグ][評価]など、様々な基準で並び替えることが出来ます



▲[並び替え]

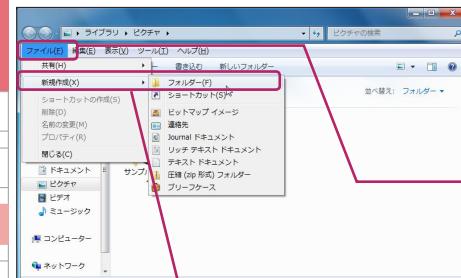
15 ファイルやフォルダーを作成する

新しいファイルやフォルダーを使いたい場合は、新規作成する必要があります。ファイルやフォルダーを新規作成してみましょう

- フォルダー・ファイルを新規作成する方法
- フォルダー・ファイルの名前を変更する方法

フォルダを作成

step 1 フォルダを作成する場所を開く



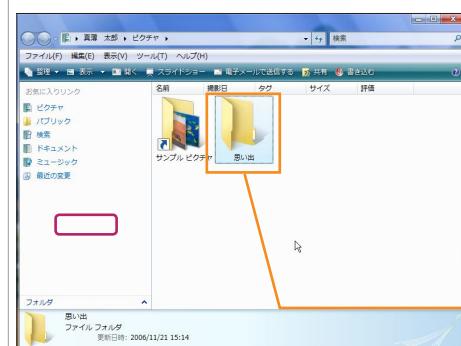
例として[ピクチャ]内に新しくフォルダを作成します

- 1 [ピクチャ] フォルダを開いて[ファイル]をクリック
- 2 [新規作成] ⇒ [フォルダ] の順にクリック



[新しいフォルダ]が作成されました

step 2 フォルダの名前を変更する



フォルダ名として「思い出」と入力し、「Enter」キーを押す

[思い出] フォルダが作成されました

テクニック

右クリックでフォルダ一・ファイルを新規作成

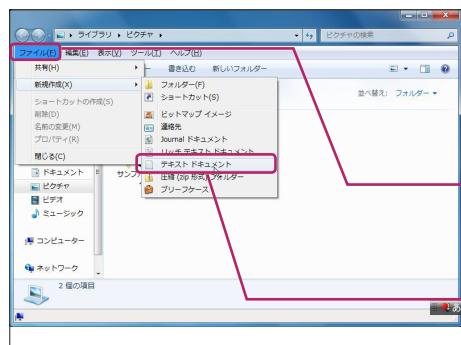
フォルダやデスクトップの開いている場所で右クリックをし、[新規作成] ⇒ [作成したいもの]をクリックすることでも、フォルダやファイルを新規作成することができます。



▲ [右クリック] ⇒ [新規作成]から、作成したいものをクリックする。

ファイルを作成する

step 1 ファイルを作成する場所を開く

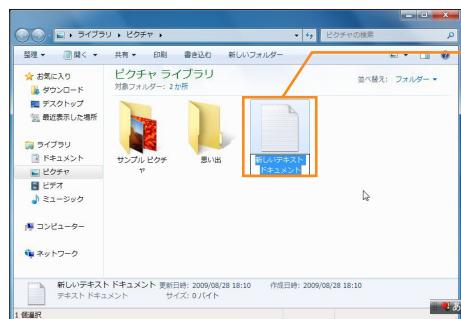


例として、テキストファイルを新規作成して見ましょう

1 [ピクチャ] フォルダを開いて[ファイル]をクリック

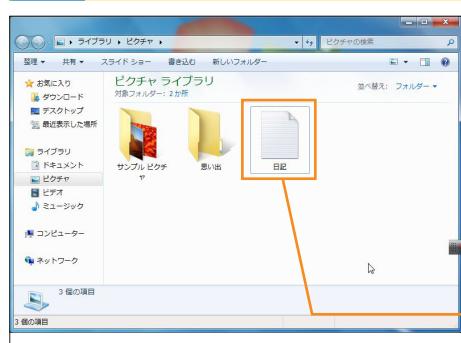
2 [新規作成] ⇒ [テキストドキュメント]の順にクリック

step 2 ファイルが新規作成された



[新しいテキストドキュメント]が作成されました

step 3 ファイル名を変更する



ファイル名が青く反転している状態で「日記」と入力し、「Enter」キーを押します

「日記」と言う名前のテキストファイルが作成されました

ワンポイント

作成したファイルの編集

ここで作成したテキストドキュメントは、何も入力されていない空の状態です。作成したファイルをダブルクリックすると、ワードパッドが起動しますので、ここから内容の編集、保存を行ってください。

ワンポイント

アプリケーションでのファイル新規作成

ワードパッドで内容を編集後、「名前をつけて保存」から、ファイルに名前をつけて保存した場合は、その名前のファイルが新規作成されることになります。通常は、この方法で新規ファイルが作成されます。

注意

同じ名前のファイル、フォルダーは作成できない

一つのドライブ、およびフォルダ内に、同じ名前のファイル、フォルダーを2つ作成することは出来ません。同じ名前のファイルを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。同じ内容のファイルを同じフォルダに保存する場合は、末尾に一文字文字を加えるなどして、ファイル名を別のものにする必要があります。

16 ファイルやフォルダーを選択する

ファイルやフォルダーを操作するためには、ファイルやフォルダーを選択しなければなりません。ファイルやフォルダーの選択方法を説明します。

- 操作したいファイルを選択する
- 連続したファイルを一度で選択する
- ファイルをすべて選択する

ファイルを一つ選択する場合

step 1 選択するファイルをクリックする



テクニック

離れた場所にある複数のファイルを選択する場合



最初のファイルをクリック



ファイルが選択される



他のファイルを「Ctrl」キーを押しながらクリック

範囲指定で複数のファイルを選択する



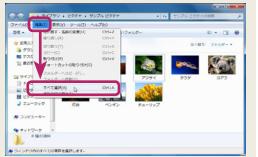
選択したいファイル範囲をドラッグする

step 3 選択が解除された



テクニック

すべてのファイルを選択する場合



連続している複数ファイルを選択する

step 1 始めのファイルをクリック



始めのファイルをクリック



step 2 連続しているファイルが複数選択できた



最後のファイルを「Shift」キーを押しながらクリックする

連続しているファイルが選択されます

17

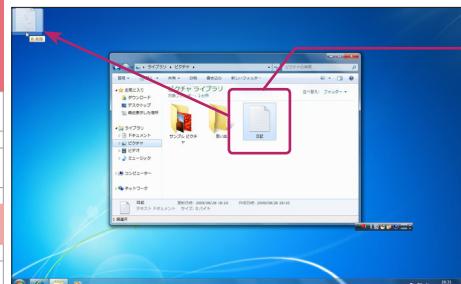
ファイルやフォルダーを削除する

不要になったファイルやフォルダーは削除して、整理しましょう。ファイルの削除は、不要なファイルをごみ箱へドラッグします。

- ファイルやフォルダーの削除
- ゴミ箱からファイルを完全に削除する

ファイルを削除する

step 1 削除するファイルを[ごみ箱]にドラッグする



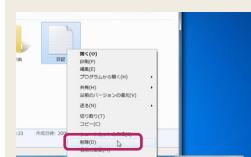
削除したいファイルを[ごみ箱]にドラッグ

[ごみ箱]が選択状態になります

マウスのボタンを離してドロップします

■ テクニック

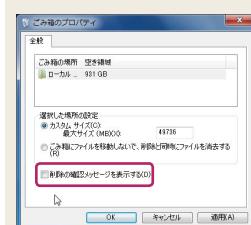
ファイルを削除する
ファイルを右クリックして表示されるショートカットから[削除]をクリックしても、ファイルを削除できます。



■ テクニック

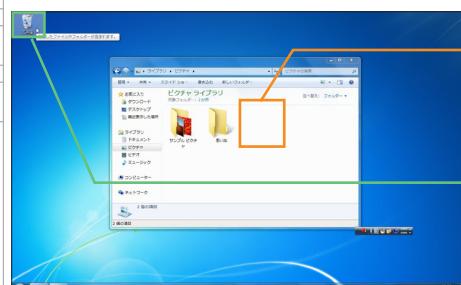
削除の際に、確認メッセージを表示しない

ファイルを削除する際に表示される確認メッセージは、[ごみ箱]を右クリックし[プロパティ]を開き、「削除の確認メッセージを表示」をオフにすると表示されなくなります。



▲[削除の確認メッセージを表示する]のチェックを外す

step 2 ファイルが削除された



ファイルが消えます

[ごみ箱]の形が変わります

フォルダも同様に削除できます

ファイルを完全に削除する

step 1 [ごみ箱]の中身を表示する



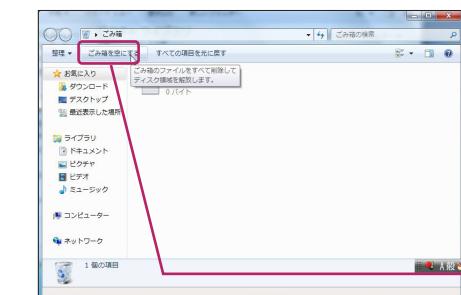
[ごみ箱]に入ったファイルを完全に削除してみましょう

■ テクニック

ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す

通常、削除したファイルは一度ごみ箱に移動します。「[ごみ箱]アイコンを右クリック⇒[プロパティ]⇒[ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す]」にチェックを入れると、ごみ箱にファイルを移動することなく、パソコン上から直接ファイルを削除することが出来ようになります。ただし、この方式でファイルを削除すると、ファイルを間違って削除した場合に復元が出来ないので、注意してください。

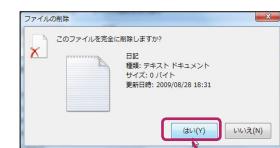
step 2 [ごみ箱]が開いた



[ごみ箱]の中身が表示される

[ごみ箱を空にする]をクリックする

step 3 削除の確認メッセージが表示されます



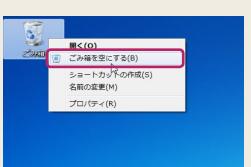
確認のダイアログボックスが表示されます

[はい]をクリックする

■ テクニック

ごみ箱を空にする方法

[ごみ箱]を右クリックして表示されるメニューから、「[ごみ箱を空にする]を選択してもごみ箱を空に出来ます。



▲[ごみ箱を空にする]をクリック

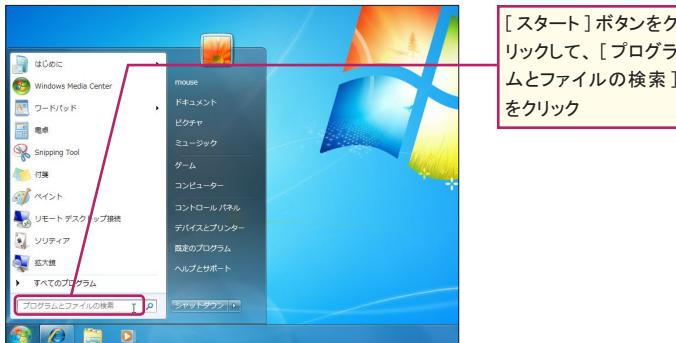
18 ファイルを検索する

ファイルが見つからない場合などは、ファイルの検索機能を活用し、目的のファイルを見つけることができます

- ファイル名からファイルの検索を行う
- ファイルに含まれる文字から、ファイルの検索を行う

ファイル名からファイルの検索を行う

step 1 [スタート]メニューから[検索の開始]をクリックする



ワンポイント

[スタート]ボタンをクリックして、「プログラムとファイルの検索」をクリック

ファイル名の一部でも検索は可能
ファイル名をすべて入力せず、一部のみを入力してもファイルの検索は可能です

テクニック

検索したファイルを直接開く
検索結果欄に表示されたファイルをダブルクリックすると、ファイルを直接開くことが可能です。

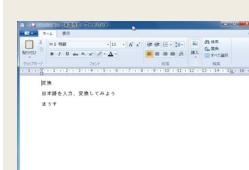
step 2 検索ワードを入力する



1 検索ワードを入力する

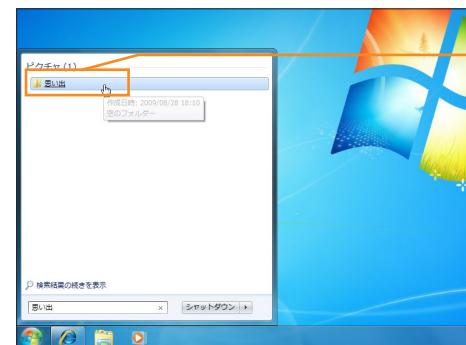
2 検索ボタンをクリックする

△検索にヒットしたファイルをダブルクリック



△ファイルが開く

step 3 検索結果が表示された



検索結果が表示されました

ファイルに含まれる文字で検索を行う

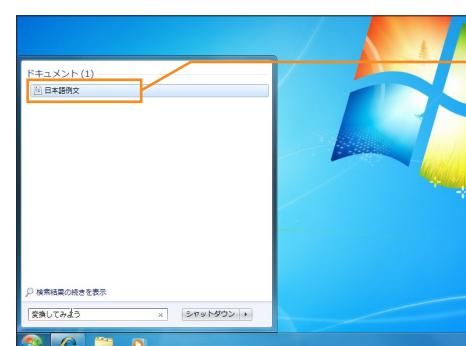
step 1 検索ワードを入力し、検索ボタンをクリックする



1 検索ワードを入力する

2 検索ボタンをクリックする

step 2 検索結果が表示される



検索結果が表示されました

19 ファイルやフォルダーの圧縮と解凍

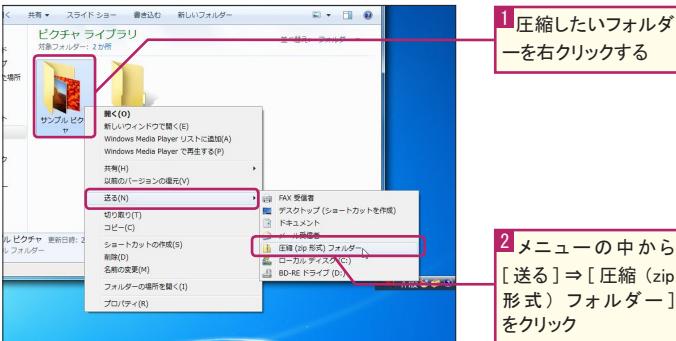
ファイルやフォルダーは「圧縮」と呼ばれる作業を行うことで、容量を減らすことが出来ます。ここでは、フォルダーの圧縮と解凍について説明します。

- ファイル・フォルダーの圧縮
- ファイル・フォルダーの解凍

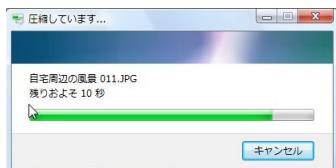
CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

フォルダーを圧縮する

step 1 圧縮したいフォルダーを右クリックする

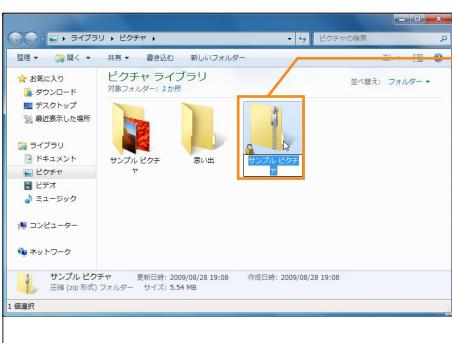


step 2 フォルダーの圧縮が開始される



フォルダーの圧縮が開始されます。そのままお待ちください

step 3 フォルダーの圧縮が完了する



フォルダーの圧縮が完了し、圧縮したフォルダーが作成されました

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ワンポイント

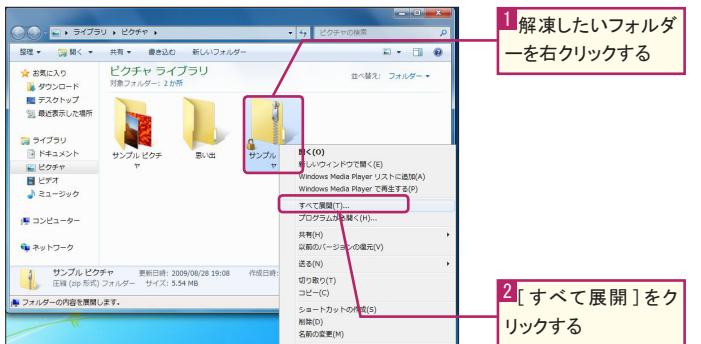
圧縮ファイルとは

圧縮ファイルとは、圧縮されていないファイルに比べて使用する記憶域が少なく、他のコンピュータへの転送時間もより短くなります。圧縮ファイルと圧縮フォルダは、圧縮されていないファイルやフォルダと同じように扱うことができます。また、複数のファイルを1つの圧縮フォルダとしてまとめることができます。こうすることにより、電子メールメッセージの添付が複数のファイルではなく1つのフォルダだけで済むため、複数ファイルの共有がより容易になります。

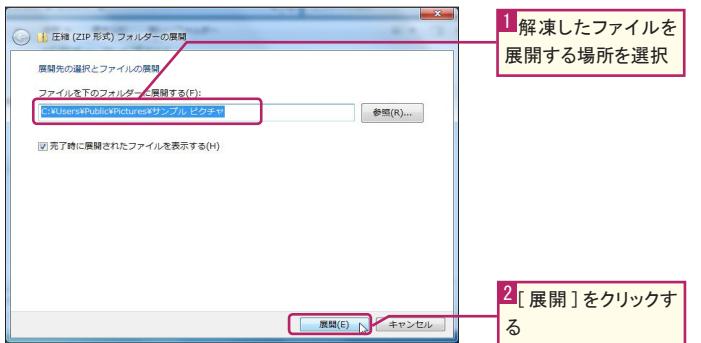
CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

圧縮したフォルダーを解凍する

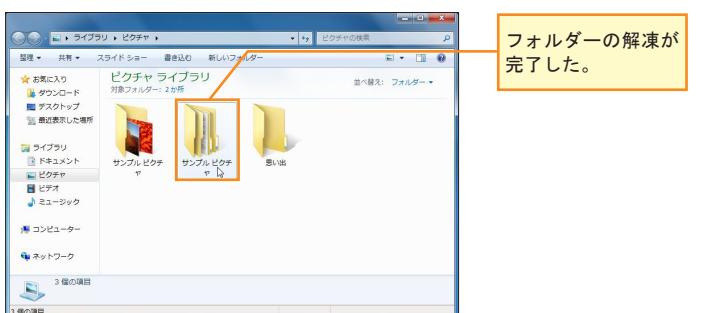
step 1 解凍したいフォルダーを右クリックする



step 2 解凍するフォルダーの展開先を選択する



step 3 フォルダーが解凍される



フォルダーの解凍が完了しました。

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ワンポイント

圧縮の形式

ファイルを圧縮する形式には、zip のほかに、LZH、RARといった形式がああります。Windows Vistaで圧縮・解凍を行えるのは zip 形式のみとなります。他の圧縮形式を使用するには、別途アプリケーションを使用する必要があります。

20

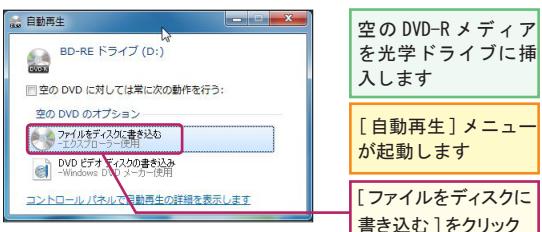
DVDにデータを書き込むには

Windows Vistaでは、DVD-R/RWメディアにデータを書き込む機能があります。DVD-Rに、データを書き込んでみましょう。

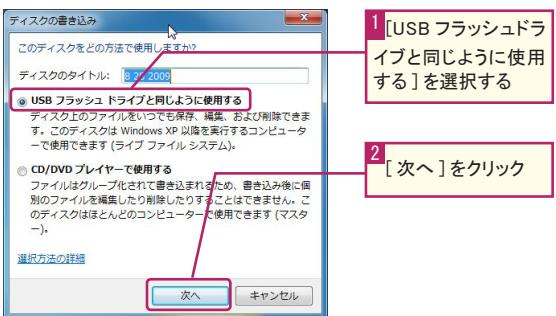
- DVD-R/-RWにデータを書き込む
- CD-R/RWにデータを書き込む
- ライティングソフトを使用した書き込み

DVD-Rにデータを書き込む準備をする

step 1 空のDVD-Rメディアを光学ドライブに挿入する



step 2 ディスクの使用方法を選択する



step 3 ディスクのフォーマットが開始されます



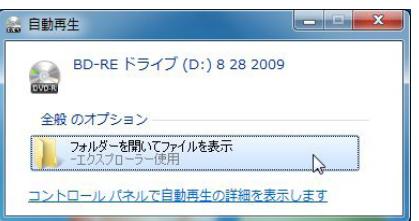
ワンポイント

CD-Rに書き込みも出来る

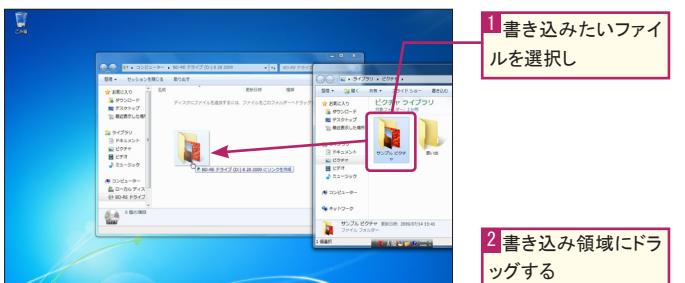
DVD-Rに書き込むと同様の操作で、CD-Rにデータを書き込むことが出来ます。書き込むデータの容量により、メディアを使い分けましょう。

DVDにデータを書き込む

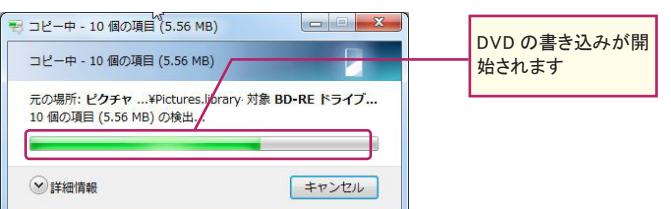
step 1 [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリック



step 2 DVDに書き込みたいファイルを選択



step 3 DVDの書き込みが開始される



step 3 DVDの書き込みが完了する



ワンポイント

ライティングソフトを使用した書き込み

Windows Vistaでは、標準でCD/DVDメディアへの書き込み機能をサポートしていますが、より詳細な設定を行いメディアの書き込みを行いたい場合や、ブルーレイディスクなどの新しい規格のメディアにデータを書き込みたい場合は、市販のライティングソフトと呼ばれる書き込みソフトを別途使用する必要があります。

インターネットと メール

本章では、Internet Explorer 8.0 を使用した Web 閲覧と、Windows メールを使用した電子メールの活用について説明します。

21 ● Internet Explorer 8.0 の起動・終了	54
22 ● Internet Explorer 8.0 の画面構成	56
23 ● ホームページを参照する	58
24 ● タブブラウザ機能について	60
25 ● ホームページをお気に入りに登録する	62
26 ● WindowsLive メールのインストール	64
27 ● WindowsLive メールの初回設定	68
28 ● メール本文の作成	70
29 ● メールを送信する	72
30 ● アドレス帳にメールアドレスを登録する	74
31 ● アドレス帳から宛先を入力する	76

21

InternetExplorer8.0 の起動・終了

InternetExplorer8.0 は、インターネット閲覧を行うための基本ブラウザソフトです。まずは、InternetExplorer8.0 を起動・終了してみましょう。

- InternetExplorer8.0 を起動してみる
- InternetExplorer8.0 を終了してみる

InternetExplorer8.0 を起動する



1 タスクバー上にある、[InternetExplorer] のアイコンをクリックする。

step 2 InternetExplorer8.0 が起動する



InternetExplorer8.0 が起動します

InternetExplorer7.0 を終了する

step 1 [閉じる] ボタンをクリック



[閉じる] ボタンをクリックする

◆ テクニック

InternetExplorer8.0 を終了する

[ファイル] メニュー ⇒ [閉じる] をクリックする事でも、InternetExplorer8.0 を終了することが出来ます。

step 2 InternetExplorer8.0 が終了しました



InternetExplorer8.0 が終了しました

22

Internet Explorer8.0 の画面構成

Internet Explorer8.0 の画面構成を確認しましょう

- Internet Explorer8.0 の画面構成
- 各機能の役割

Internet Explorer8.0

タイトルバー

現在表示されているホームページの名前が表示されます。オフライン時には、[オフライン作業]と表示されます。

[進む][戻る] ボタン

一つ前のホームページを表示したり、戻ったりする際に使用します。

メニューバー

各メニューを表示します。メニュー名をクリックすることで、プルダウンメニューが表示され、操作を選択することが出来ます。

アドレスバー

現在表示されているホームページのアドレスが表示されます。ここにアドレスを直接入力することにより、ホームページに移動することが出来ます。



タブ

複数ホームページを、一つのブラウザ画面内で切り替える [タブブラウザ機能] のタブ項目です。複数ホームページがタブにより開かれている場合は、各タブにホームページ名が表示されます

検索フォーム

インターネットの検索を行います

ツールバー

一般的な機能がボタン形式で登録されています。ボタンをクリックすることにより、ホームページに移動したり、プリントを行ったり各種コマンドを実行できます。

表示エリア

ここに、ホームページの内容が表示されます。

セキュリティゾーン

現在表示しているホームページのセキュリティレベルを表示します。

ズームボタン

ホームページの表示拡大率をここで調整できます。

23

ホームページを参照する

アドレスバーに直接アドレスを入力し、ホームページを表示したり、リンクをクリックしてホームページを表示してみましょう。

- 直接 URL を入力してホームページを表示する
- リンク先をクリックしてホームページを表示する
- 【戻る】【進む】ボタンでページを移動する

アドレスバーに URL を直接入力する

step 1 アドレスバーをクリックする



アドレスバーをクリックする

アドレスバーの URL
が選択状態になります

step 2 URL を直接入力する



アドレスバーに URL を直接入力し、「Enter」キーを押す。

step 3 ホームページが表示されます



しばらくすると、
ホームページが表示されます

ワンポイント

URL とは

URL とは、ホームページのアドレスの事を言います。URL の入力が、一文字でも間違っていると、ホームページを正しく表示することが出来ません。大文字、小文字の区別もされるので、しっかり確認しながら入力を行ってください。

注意

「ページが表示できません」と表示された場合

URL の入力が間違っているか、指定したホームページが削除されてしまっている可能性があります

ワンポイント

オートコンプリート機能

一度入力した URL は、すべて記憶されます。以前入力した URL を途中まで入力すると、候補の一覧がブルダウンで表示されます。

▲↑↓キーで候補を選択

リンク先を表示する

step 1 アドレスバーをクリックする



1 リンク先にマウスホイントを合わせる

マウスホイントが手の形に変わる

リンク先の URL が表示される

step 2 リンク先が表示される



リンク先のホームページが表示されます

ワンポイント

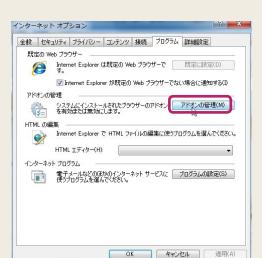
過去に入力した URL よりアドレスを選択する
過去に入力した URL は、アドレスバーの右端にある▼ボタンをクリックすることにより一覧表示させることができます



テクニック

不要なアドオンを無効にする

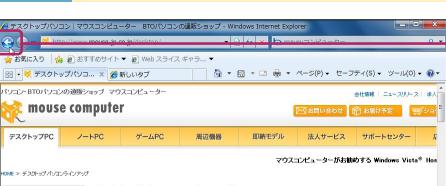
アドオンとは WEB ブラウザの機能を強化するものですが、これがインターネット閲覧の障害になることもあります。【ツール】メニュー⇒「インターネットオプション」⇒「プログラム」タブ⇒「アドオンの管理」で、不要なアドオンを無効に切り替えることができます。



▲ [プログラム] タブの「アドオンの管理」をクリック

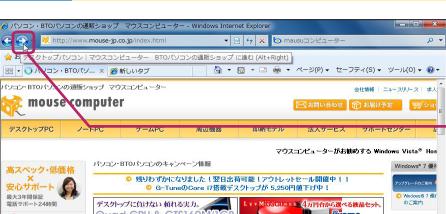
【戻る】【進む】ボタンでページを移動する

step 1 【戻る】ボタンをクリックする



【戻る】ボタンをクリックする

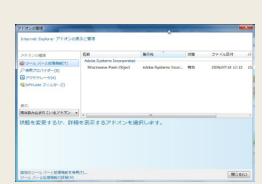
step 2 一つ前のホームページが表示される。



一つ前のホームページが表示されます

【進む】ボタンをクリックする

戻る前のホームページが表示されます



▲ 不要なアドオンを無効にする

24 タブブラウザ機能について

Internet Explorer 8.0 には、一つのブラウザ内で複数のホームページを閲覧することが出来る、タブブラウザ機能が搭載されています。

- ✓ 新しいタブでホームページを開く
- ✓ タブを閉じる
- ✓ クイックタブ機能

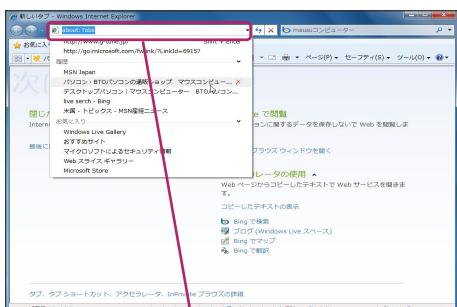
新しいタブを開く

step 1 「新しいタブ」ボタンをクリックする



「新しいタブ」ボタンをクリックする

step 2 新しいタブが開く



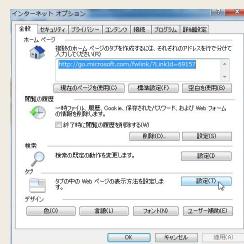
新しいタブが開きます

アドレスバーから URL を指定して、「Enter」を押す

テクニック

タブの詳細設定

「ツール」→「インターネットオプション」→「全般」タブ=「タブ」の右にある「設定」ボタンをクリックすることで、タブ機能の詳細を設定することができます。



▲「タブ」の右にある「設定」ボタンをクリック

▲「タブ」機能の詳細を設定することが出来る

step 3 新しいタブ上でホームページが開く



新しいタブ上で指定したホームページが開きます

テクニック

クイックタブ機能

タブの左側にある「クイックタブ」ボタンをクリックすると、現在開いているタブを一覧から選択することができます。



▲「クイックタブ」ボタン



▲一覧より、タブを選択することができる

タブを閉じる

step 1 「タブを閉じる」ボタンをクリックする



「タブを閉じる」ボタンをクリックする

タブが閉じます

タブを移動する

step 1 移動したいタブをクリック



移動したいタブにカーソルを合わせクリック

タブが移動します

25

ホームページを「お気に入り」に登録する

ホームページを「お気に入り」に登録しておくことにより、たびたび訪問するホームページへのアクセスが容易になります。

- ホームページを「お気に入り」に登録する
- 「お気に入り」に登録したページにアクセスする

ホームページをお気に入りに登録する

step 1 お気に入りに登録したいページを表示



[お気に入り]に登録したいページを表示しておきます

◆テクニック

お気に入りに登録する方法

ホームページ上で右クリック⇒「お気に入りに追加」を選択しても、お気に入りにホームページを追加することができます。

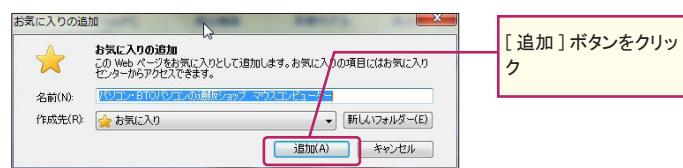


1 [お気に入り]をクリック

2 [お気に入りに追加]をクリック

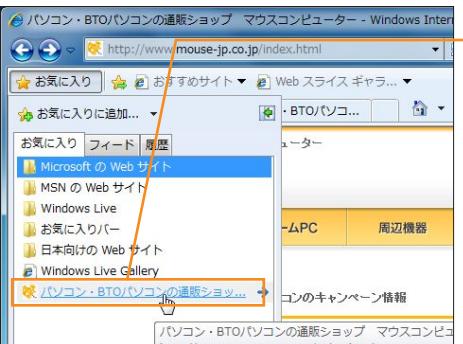
▲右クリック⇒お気に入りに追加

step 2 「お気に入りに追加」ダイアログボックスが開く



[追加]ボタンをクリック

step 3 お気に入りにホームページが追加された

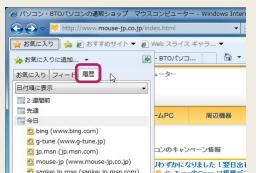


ホームページがお気に入りメニューの中に追加されました

◆テクニック

履歴を表示する

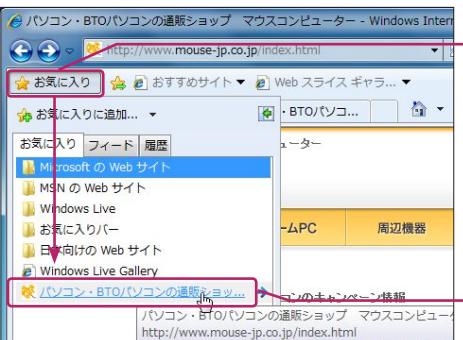
お気に入りエクスプローラ上部にある、「履歴」タブをクリックすることで、これまで参照したWEBページの、履歴の一覧を表示することができます。



▲[履歴]タブをクリック

お気に入りのページを表示する

step 1 「お気に入り」からホームページをクリックする



1 [お気に入り]をクリック

2 表示したいページ名をクリック

step 2 クリックしたページが表示される



クリックしたページが表示される

26

WindowsLive メールのインストール

Windows7では、標準でメールソフトが搭載されておりません。ここでは、メールソフトの一つであるWindowsLive メールについて説明します。

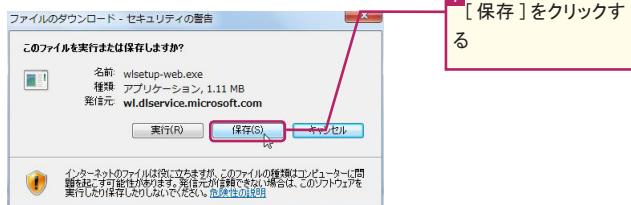
- Windows Live メールをダウンロードする。
- Windows Live メールをインストールする。

Windows Live Mail をダウンロードする

step 1 [http://download.live.com] にアクセスする



step 2 ファイルをダウンロードする

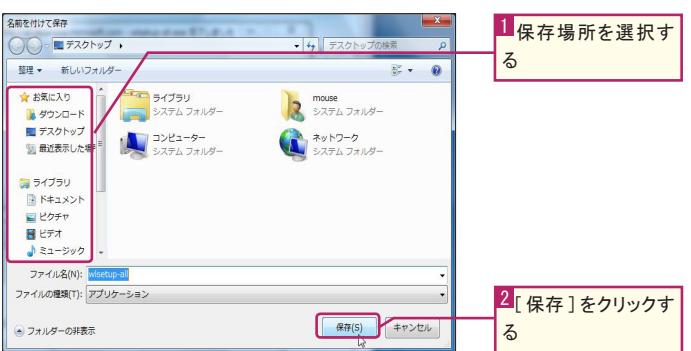


ワンポイント

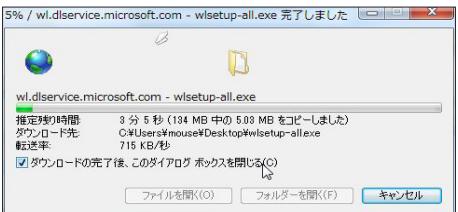
メールソフトについて
WindowsXPでは[Outlook Express]が、WindowsVistaにおいては、[WindowsMail]が、OS標準のメールソフトとして搭載されていました。しかし、Windows7で、OS標準でメールソフトが搭載されておらず、メールソフトを使用する場合には、ユーザーが好みのメールソフトを選択、インストールする必要があります。

ここでは従来のWindows標準メールソフトに近い操作感の、Windows Live Mailを紹介しておりますが、お好みに応じてメールソフトを選択してください。

step 3 保存場所を選択し、ファイルを保存する。

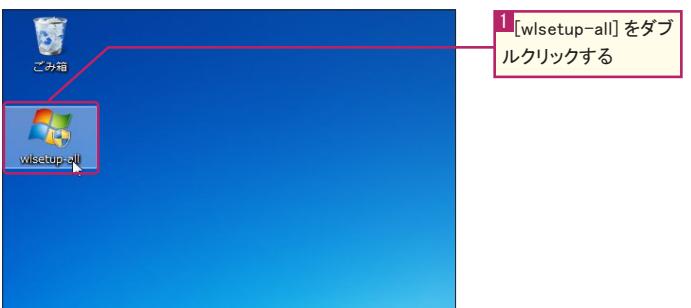


step 4 ダウンロードが開始される



ダウンロードが開始されます。完了までお待ちください。

step 5 [wlsetup-all] をダブルクリックする



ワンポイント

WindowsLive ツールに関する

WindowsLive ツールは、マウスコンピューターにてOSセットモデルを購入された場合、もしくはWindows7優待アップグレードキャンペーンにてVistaからのアップグレードを行った場合には、標準でインストールされています。別途、本章の手順に沿ってインストールを行う必要はありません。

OS無しモデルをご購入頂き、ご自身で購入したWindows7製品版のメディアを使用してOSをインストールした場合や、DSP版Windows7をPC本体とセットで購入別途した場合には、本章の手順に従ってインストールを行う必要があります。

step 6 [サービス利用規約] が表示される。



[同意する] ボタンをクリック

ワンポイント

Windows Live Toolsについて

Windows Live Toolsには、メール以外にも、メッセンジャー、画像ビューアー、動画編集ソフトなど、便利なソフトが用意されています。<http://download.live.com/>にて、各ソフトウェアの機能詳細が掲載されており、参考にしてください。

step 7 メールアカウントの設定完了



1 [メール] を選択する

2 [インストール] ボタンをクリック

step 8 インストールが開始されます



インストールが開始されます。完了までお待ちください。

step 9 「もう少しで完了です」と表示される。



1 各項目のチェックをはずす

step 10 [WindowsLive へようこそ] 画面を開く



1 各項目のチェックをはずす

2 [プロパティ] ボタンをクリック

インストールが完了し、[WindowsLive へようこそ] と表示されます

[閉じる] ボタンをクリック

27

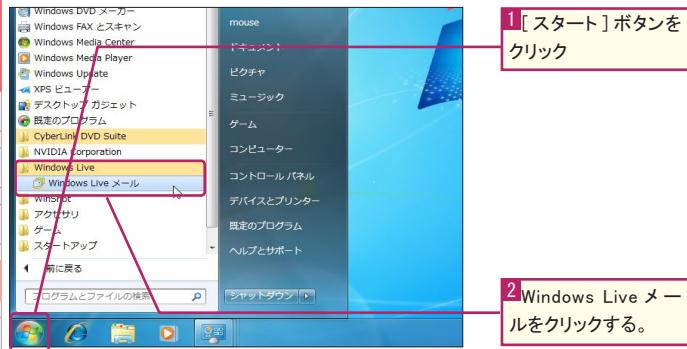
WindowsLive メールの初回設定

WindowsLive メールでは、初回起動時にメールアドレスの設定が必要です。その設定方法をここでは説明します。

✓ WindowsLive メールの初回設定

WindowsLive メールを起動する

step 1 WindowsLive メールを起動する

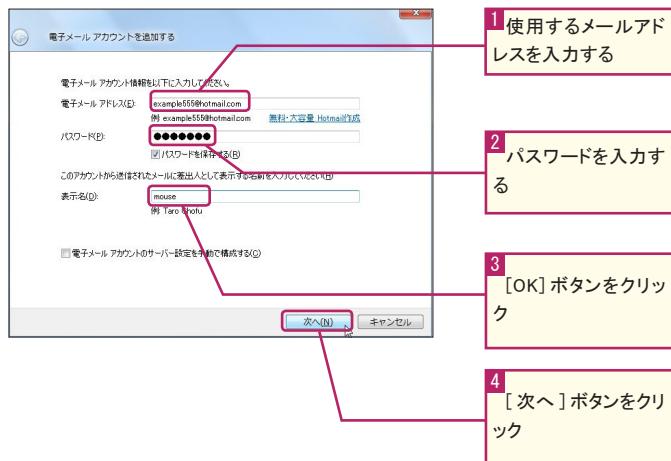


ワンポイント

メールアドレスについて

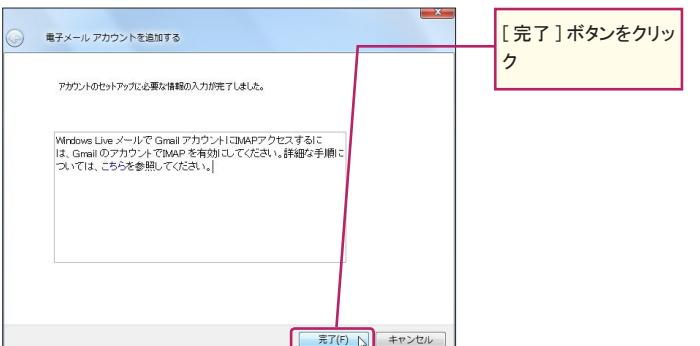
使用するメールアドレスは、事前にインターネットサービスプロバイダと契約し、提供されたものか、WEBメールサービスにて使用しているメールアドレスを設定することができます。事前にメールアドレスを準備し、設定を行ってください。

step 2 電子メールアカウントの設定画面が表示される



メール本分を作成する

step 3 セットアップが完了する



ワンポイント

宛先の入力について
宛先の欄には、送信先のメールアドレスを入力します。メールアドレスは半角英数文字で入力します。全角文字、半角カタカナでの入力は出来ませんので注意してください。

ワンポイント

アドレス帳から宛先を入力する。
宛先がアドレス帳に入力されている場合は、[宛先]ボタンをクリックして、アドレス帳から宛先を入力することが出来ます。

28

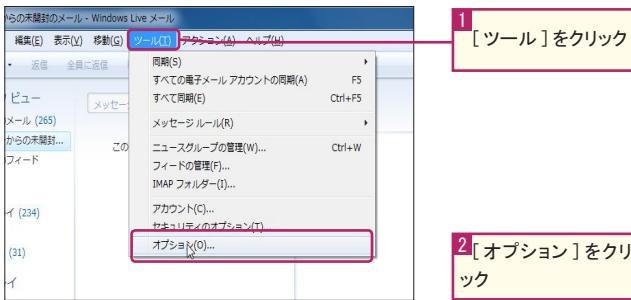
メール本文の作成

WindowsLive メールを使用した、メール本文の作成方法を説明します。

メールの本文を作成する

作成したメールを送信する

step 1 [送信] ボタンを押す

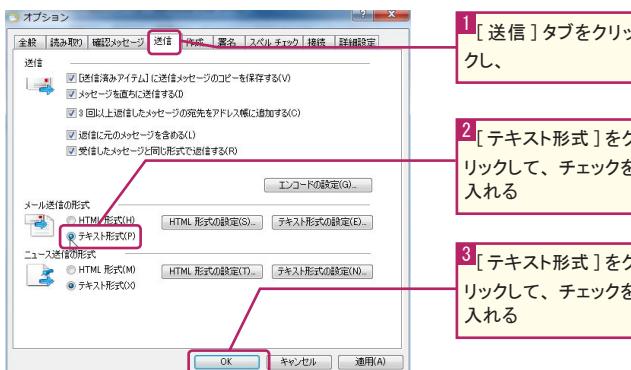


ワンポイント

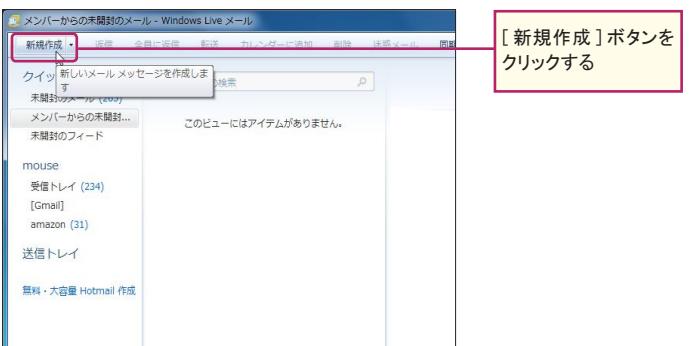
メールは一度送信トレイに入れる

メール送信の形式には、テキスト形式と、HTML 形式の 2 種類があります。HTML 形式でのメールは、表現豊かなメールを作成できますが、受信側のメールソフトが対応していないと、正しく内容を表示できない場合があります。そのため、文章のみのメールを主に使用する場合は、メール送信の形式をテキスト形式に変更しておいた方が無難です。なお、初期設定ではメール送信の形式は「HTML 形式」になっています。

step 2 確認のメッセージが表示される

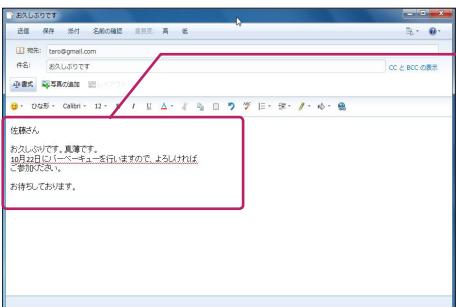


step 3 [新規作成] ボタンをクリックする



[新規作成] ボタンをクリックする

step 4 メール本文を記載する



メール本文を記載する

29

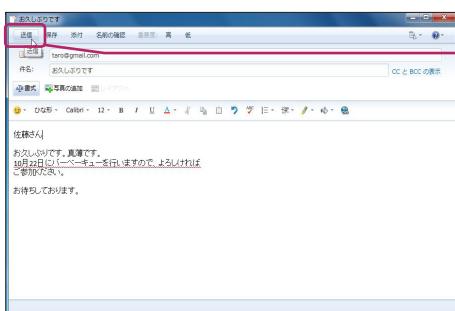
メールを送信する

メールの作成に引き続き、メールを送信してみましょう。

メールを送信する

メールを受信する

step 1 [送信] ボタンをクリックする



[送信] ボタンをクリックする

step 2 あて先を設定する



1 あて先を設定する

2 [OK] ボタンをクリックする

メールが送信されます

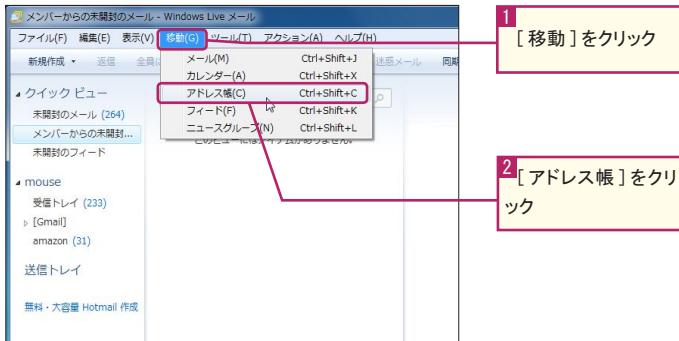
30 アドレス帳にメールアドレスを登録する

アドレス帳にメールアドレスを登録することで、メールアドレスの入力をアドレス帳から簡単にを行うようになります。

- アドレス帳にメールアドレスを登録
- アドレス帳の内容を編集・削除する

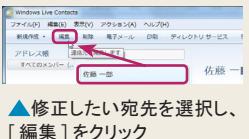
アドレス帳にメールアドレスを登録する

step 1 WindowsLive メールを起動する

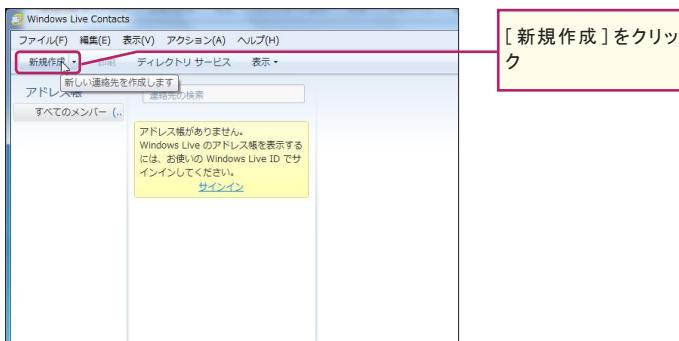


テクニック

アドレス帳に登録した内容を変更する
 アドレス帳から、変更したい宛先をクリックし、編集をクリックすることで、アドレス帳に登録した内容を変更することができます。

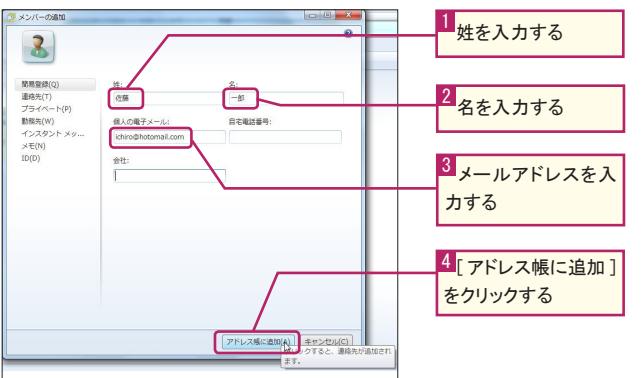


step 2 アドレス帳が開く



△内容を編集し、[保存] をクリックする

step 3 アドレス帳の情報を入力する



テクニック

アドレス帳から宛先を削除したい場合
 アドレス帳から削除したい宛先をクリックし、[削除] ボタンをクリックすることで、アドレス帳から宛先を削除することができます。



step 4 アドレス帳に情報が追加される



31

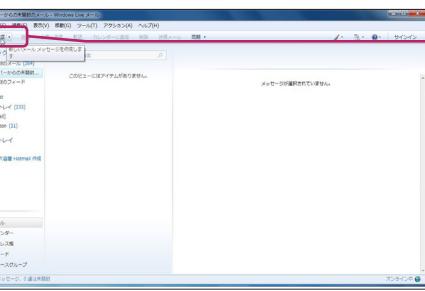
アドレス帳から宛先を入力する

アドレス帳に登録した宛先を選択し、メールアドレスを入力してみましょう。

- アドレス帳から宛先を入力する
- 「CC」と「BCC」欄について

アドレス帳から宛先を選択し入力する

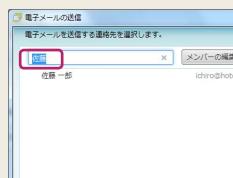
step 1 WindowsLive メールを起動する



[新規作成]ボタンをクリック

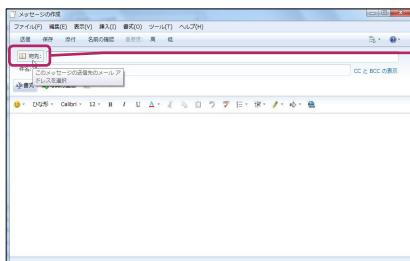
テクニック

アドレス帳の検索
アドレス帳画面の左上にある、検索ボックスに検索語句を入力することで、アドレス帳のデータを検索することができます。



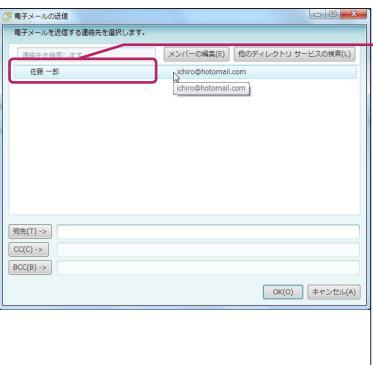
△検索ボックス

step 2 メッセージの入力ウィンドウが開く



[宛先]ボタンをクリック

step 3 宛先に指定するアドレスを選択する



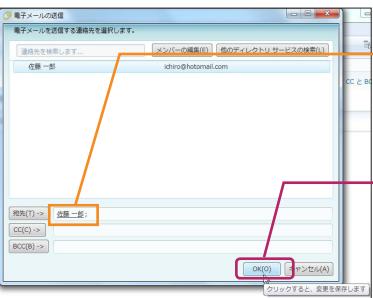
1 宛先に指定するアドレスをダブルクリックする

ワンポイント

CC欄とBCC欄について
CC欄は、同じ内容のメールを写しとして送りたい場合に宛先を入力する欄です。CC欄に記入された宛先の人は、メールが送られてきた際に、同じ内容のメールが誰に送られたかを確認することが出来ます。

BCC欄も、同じ内容のメールを写しとして送りたい場合に宛先を入力する欄ですが、BCC欄に記入された宛先の人は、同じメールが他の誰に送られたかを確認することは出来ません。

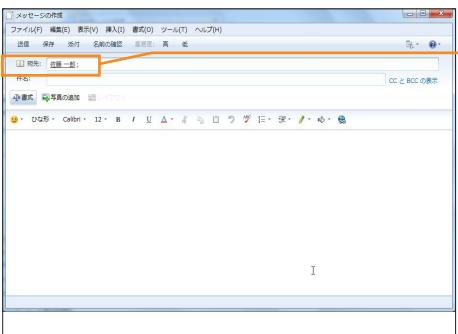
WindowsLive メールの初期設定では、CC、BCC 欄は表示されていません。画面右上にある、「[CC と BCC の表示]」をクリックすることで、表示されます。



[宛先]に氏名が表示される

2 [OK]ボタンをクリック

step 4 宛先が入力された



宛先欄に欄に宛先が表示される



△ CC と BCC の表示



△ [CC] [BCC] 欄が表示される

CHAPTER 5

アプリケーション の追加と削除

本章では、アプリケーションのインストール、および削除の方法について説明します。

32 ● アプリケーションをインストールする	80
33 ● プログラムの削除	82

32

アプリケーションをインストールする

パソコンを使用するにあたって、様々なアプリケーションをインストールするところがあります。ここでは、インストールする方法を説明します

- アプリケーションのインストール
- オートインストール機能

アプリケーションをインストールする

step 1 アプリケーションの CD-ROM を光学ドライブに挿入する



セットアッププログラムが自動的に起動します。以後、画面の指示に従い、インストールを進めます

[次へ] ボタンをクリック

ワンポイント

インストール
アプリケーションをコンピュータに組み込んで使用できる状態にすることを「インストール」もしくは「セットアップ」といいます。市販のアプリケーションパッケージを購入した場合などは、最初にインストール作業が必要です。インストール作業ではCD-ROMから必要なファイルをパソコンにコピーしたり、アプリケーションをスタートメニューに登録したり、デスクトップにショートカットを作成したりします。

ワンポイント

オートインストール機能

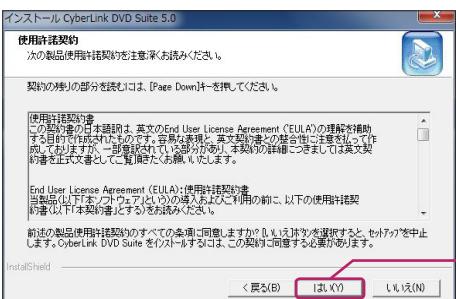
オートインストール機能に対応したアプリケーションは、そのCDをパソコンに挿入するだけで、自動的にセットアッププログラムが起動します。

注意

インストール方法について

ここで説明しているインストール手順はあくまで一例です。実際には、アプリケーションによりインストール画面、手順が異なります。詳しいインストール方法は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

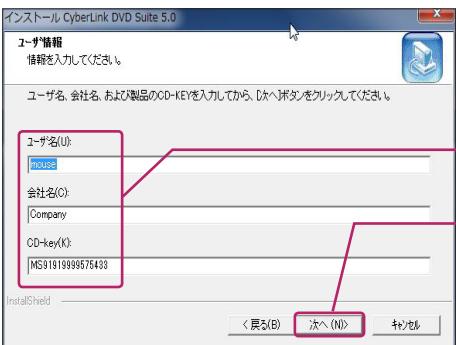
step 2 使用許諾契約の内容に同意する



1 使用許諾契約書の内容を読む

2 [はい] をクリック

step 3 必要な情報を入力する



インストール作業の途中に、情報の入力を求められる場合があります

情報入力を求める

[次へ] をクリック

ワンポイント

ブリインストール
PCに元々インストールされているアプリケーションを、「ブリインストールアプ

step 4 画面の指示に従って、作業を続行する



画面の指示に従ってインストール作業を続行します

step 5 インストールが完了する



インストール作業が完了します

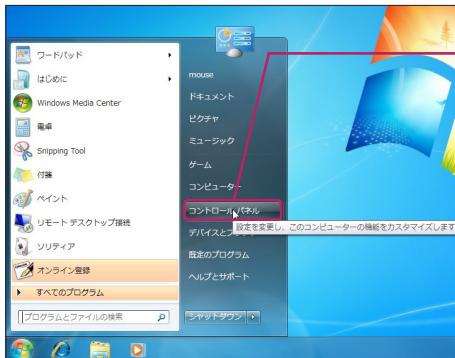
33 プログラムの削除

使わなくなったアプリケーションは、「コントロールパネル」から削除を行いましょう。

- アプリケーションを削除する
- 共有ファイルの削除

アプリケーションの削除

step 1 [コントロールパネル]を開く



[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリック

ワンポイント

プログラムのアンインストール

プログラムのアンインストールを行うと、パソコン上からファイルが削除され、スタートメニューから削除されます。インストールの際にショートカットを作成していた場合は、ショートカットも削除されます。

step 2 [プログラムのアンインストール]を選択



コントロールパネルが起動する

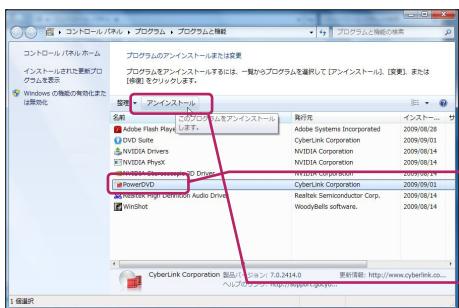
[プログラムのアンインストール]をクリック

ワンポイント

プログラムのアンインストールメニューから[アンインストール]

プログラムによっては、スタートメニューのプログラムフォルダー内に、アンインストールプログラムが表示されている場合があります。この場合、このアンインストールプログラムをクリックすることでも、プログラムをアンインストールすることができます。

step 3 インストールされているプログラムが表示される



インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

1 削除したいプログラムをクリックして選択

2 [アンインストール]をクリック

注意

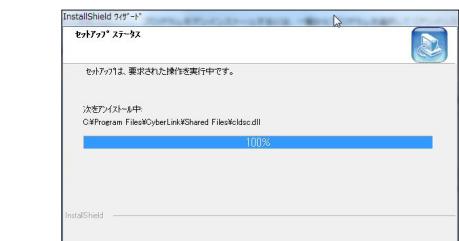
共有ファイルの削除
アプリケーションのアンインストール時に、共有ファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。共有ファイルを削除すると、そのファイルを使用しているほかのアプリケーションが起動しなくなる恐れがあるので、共有ファイルの削除は慎重に行ってください。

step 4 削除が実行される



確認メッセージが表示されます

[はい]をクリック



アンインストール作業が行われます

step 5 アプリケーションが削除された



[OK]をクリック

CHAPTER 6

写真の活用

本章では、デジタルカメラで撮影した写真の取り込み、閲覧、印刷について説明します。

34 ●デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む	86
35 ●取り込んだ写真を閲覧する	88
36 ●取り込んだ写真を印刷する	90

34 デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む

Windows7を使って、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込んでみましょう。

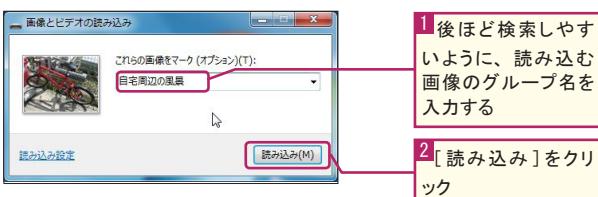
- デジタルカメラから直接写真を取り込む
- ファイルのコピーで写真を取り込む
- 取り込み後、デジタルカメラから写真を削除する

デジタルカメラから写真を取り込む

step 1 デジタルカメラをパソコンに接続する



step 2 画像の読み込みウィザードが開始される



ワンポイント

写真を取り込む

デジタルカメラの写真をパソコンに取り込むには、デジタルカメラをUSBケーブルなどで直接パソコンに接続する、メモリカードをデジタルカメラから取り出して、アダプタにメモリを装着し、それをパソコンに接続するなどの方法があります。いずれの場合も、「[画像の読み込みウィザード]」が自動的に起動し、画像の取り込みを行うことができます。

テクニック

画像ファイルを直接パソコンにコピーする。
デジタルカメラをパソコンに接続し、「コンピュータ」を開くと、「リムーバブル記憶域があるデバイス」の領域に、アイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックし、コピーしたい写真ファイルを任意のファイルにコピーすることにより、パソコンに写真を取り込むことも出来ます。



▲ [リムーバブルディスク]として認識する

step 3 画像の読み込みが開始される



画像の読み込みが開始されます

ワンポイント

画像に割り当られる名前

パソコンに取り込まれた画像には、自動的に「グループ名 001.jpg」「グループ名 002.jpg」という名前がつけられます。



▲自動的に名前がつけられる

テクニック

取り込み後、デジタルカメラから写真を削除する

写真を取り込む際に、「読み込み後に消去」の欄にチェックをつけておくと、写真を読み込み完了後、デジタルカメラから写真を自動的に消去することができます。

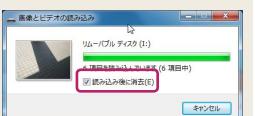
step 4 Windows フォトギャラリーが表示される



画像の読み込みが完了し、「Windows フォトギャラリー」が開く

読み込んだ画像が一覧表示される

開きたい画像をダブルクリックする



▲ここにチェックを入れます

step 5 画像が表示される



画像が表示されます

35

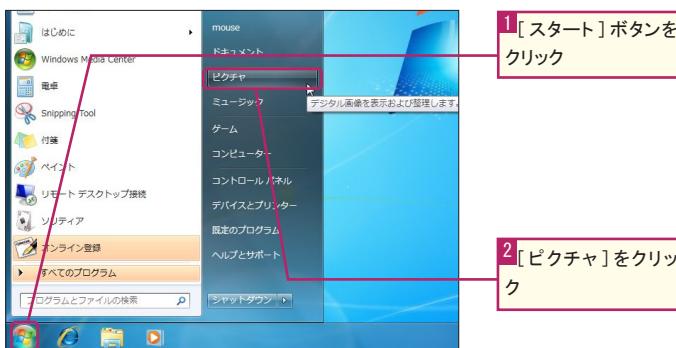
取り込んだ写真を閲覧する

デジタルカメラから取り込んだ写真を見てみましょう。スライドショーで表示させることも可能です

- 写真を表示する
- スライドショーで写真を閲覧する
- 取り込んだ写真を編集する

取り込んだ写真を閲覧する

step 1 Windows フォトギャラリーを開く



ワンポイント

撮影した写真の詳細を確認する

取り込んだ写真にマウスカーソルを合わせると、画像のプレビュー、撮影日、画像サイズの大きさ、グループ名などを確認することが出来ます。

テクニック

写真をデスクトップの背景に設定する

背景に選択したい写真を右クリックし、[デスクトップの背景として設定]をクリックすると、その画像をデスクトップの背景に設定することが出来ます。



▲ [デスクトップの背景として設定]をクリック



step 3 開きたい画像をダブルクリックする



画像が表示されます

スライドショーを表示する方法

step 1 スライドショーボタンを押す



step 2 写真がスライドショー表示される



36

取り込んだ写真を印刷する

取り込んだ写真を、Windows7の印刷機能を使って印刷してみましょう。

✓写真を印刷する

写真をプリンタで印刷する

step 1 写真の入っているフォルダを開く



プリントしたい写真が入っているフォルダを開きます

ワンポイント

プリントしたい写真を印刷する

パソコンにカラープリンタが接続されていれば、そのプリンタを使って画像を印刷することが出来ます。印刷するプリンタは、[画像の印刷]の設定画面で指定することができます。

step 2 印刷したい写真を選択して[印刷]をクリック



1 印刷したい写真を選択する

2 [印刷]をクリックする

step 3 [画像の印刷]画面が表示される。



[画像の印刷]画面が表示されるので、各写真の印刷設定を行います。

各種設定を行った後、[印刷]ボタンを押す

①プリンタ

印刷を行うプリンタを指定します

②用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します

③品質

印刷の品質を指定します

④レイアウト

用紙の中に、どのように画像をレイアウトして印刷するかを設定します

⑤各画像の部数

各画像を印刷する部数を設定します

⑥写真をフレームに合わせる

印刷する写真の余白がなくなるように、画像を拡大します。この設定を行うと、画像の端が切れることがあります。

step 4 印刷が開始されます



画像の印刷が開始されます

7

CHAPTER

音楽とビデオの再生

本章では、Windows Media Player および Windows Media Centerを使って、音楽、ビデオおよび写真を活用する方法を説明します

37 ● Windows Media Player を起動する	94
38 ● 音楽ファイルを再生する	96
39 ● 音楽 CD を再生する	98
40 ● 音楽 CD をパソコンに取り込む	100
41 ● 音楽を CD-R にコピーする	102
42 ● DVD にビデオファイルを書き込む	104
43 ● Windows Media Center の起動	106
44 ● Windows Media Center で音楽を再生する	108
45 ● Windows Media Center で動画を再生する	110
46 ● Windows Media Center で写真を閲覧する	112

37

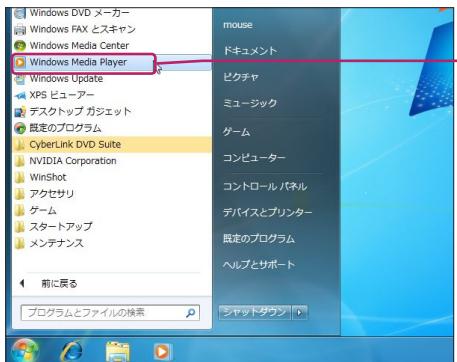
Windows Media Player を起動する

動画、音楽の再生などには、Windows Media Player を使用します。ここでは、Windows Media Player の起動・終了について説明します。

- Windows Media Player の起動
- 初回起動時の設定
- メニューバーの表示

Windows Media Player の起動

step 1 Windows Media Player の起動



[すべてのプログラム] ⇒ [Windows Media Player] をクリック

テクニック

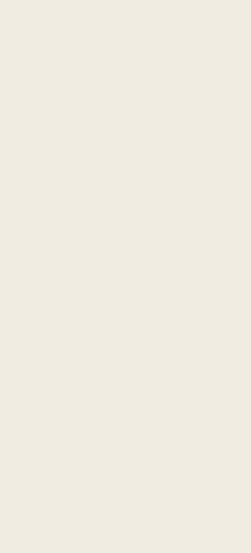
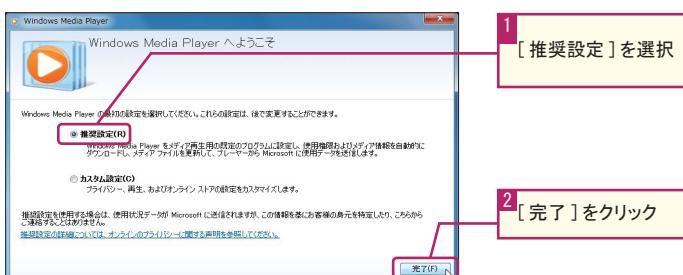
Windows Media Player のバージョンを確認する方法

[ヘルプ] メニュー ⇒ 「バージョン情報」をクリックすると、現在の Windows Media Player のバージョンを確認することができます。



▲ [ヘルプ] メニュー ⇒ [バージョン情報] をクリック

step 2 初回起動時の設定を行う



step 3 Windows Media Player が起動する



Windows Media Player が起動する。

テクニック

メニューバーを表示する方法

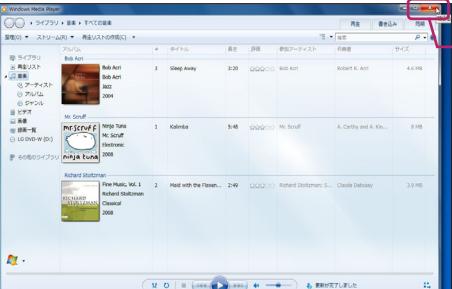
Windows Media Player 初回起動時には、画面上部にあるメニューバーが表示されていません。メニューバーを表示するには、キーボードの [Ctrl]+[M] キーを押すことにより、表示できます。



▲ メニューバーが表示される

Windows Media Player を閉じる

step 1 [閉じる] ボタンをクリックする



[閉じる] ボタンをクリックする

step 2 Windows Media Player が終了する



Windows Media Player が終了する。

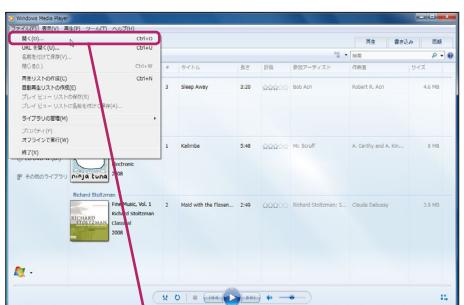
38 音楽ファイルを再生する

Windows Media Playerを使って、音楽ファイルを再生してみましょう。同様の手順で、動画ファイルの再生を行うこともできます。

- ✓ 音楽ファイルの再生
- ✓ 視覚エフェクトの設定
- ✓ 音量の調節

音楽ファイルの再生

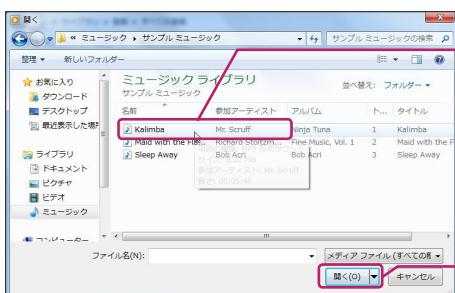
step 1 Windows Media Player を起動



Windows Media Player を起動する

[ファイル] メニュー
⇒ [開く] をクリック

step 2 [開く] ダイアログボックスが開く



1 開きたい音楽ファイルを選択

2 [開く] ボタンをクリック

ワンポイント

再生可能なファイルの種類

Windows Media Player で再生できる主なファイルの種類は、以下のとおりです。

CD オーディオ

cda

MIDI ファイル

mid、midi、rmi

Windows Media ファイル

ASF、WM、WMA、WMV

オーディオファイル

wav、AU、SND、AIF、AIFC、

AIFF、WMA、WAX

ビデオファイル

AVI、WMV

ムービーファイル

MPG、MPG、MPE、M1V、MP2、

MPV2

メディアリスト

ASX、WAX、M3U、WVX

MP3 形式サウンド

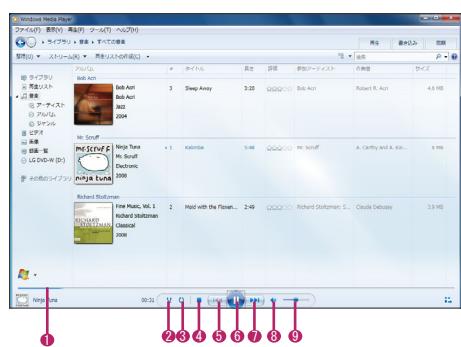
MP3、M3U

ワンポイント

メディアファイルの再生

Windows Media Player に関連付けられているファイルは、ファイルをダブルクリックすることで Windows Media Player が自動的に起動し、再生することができます。

step 3 音楽ファイルが再生する



音楽ファイルの再生が開始されます

- ① 再生バー
- ② [ランダム再生]
- ③ [連続再生]
- ④ [停止]
- ⑤ [巻き戻し]
- ⑥ [再生 / 一時停止]
- ⑦ [早送り]
- ⑧ [ミュート]
- ⑨ [音量調整]

ワンポイント

プレイビュー
プレイビュー画面右側には、再生されているファイルの詳細が表示されます。

テクニック

音量を調節する
[音量調節用] スライダをドラッグすることで、音量を調節できます。



ワンポイント

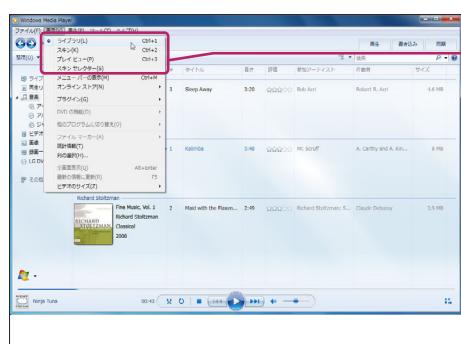
視覚エフェクト
プレイビュー画面には、再生されているファイルの詳細と、視覚エフェクトが表示されます。視覚エフェクトはお好みに合わせて変更することができます。



△ プレイビュー上で右クリックし、[視覚エフェクト] より選択する

表示方法を変更する

step 1 [表示] メニューをクリックする

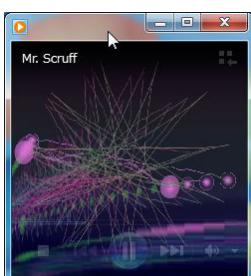


- 1 [表示] メニューから、[スキン] もしくは [プレイビュー] を選択する

step 2 表示方法が変更される



△スキン



△プレイビュー

39

音楽 CD を再生する

Windows Vista では、音楽 CD を挿入するだけで音楽の再生を行うことができます。また、手動にて音楽 CD を再生することも可能です。

- 音楽 CD を自動的に再生
- 音楽 CD を手動で再生
- 曲をスキップする

音楽 CD を自動的に再生

step 1 音楽 CD を、光学ドライブに挿入する。



Windows メディアプレーヤーが起動して、音楽 CD が再生されます。

ワンポイント

音楽 CD は、光学ドライブに挿入すれば自動的に再生します。

Windows7 は音楽 CD のオートプレーに対応しているので、光学ドライブに CD を挿入するだけで音楽 CD が再生されます。

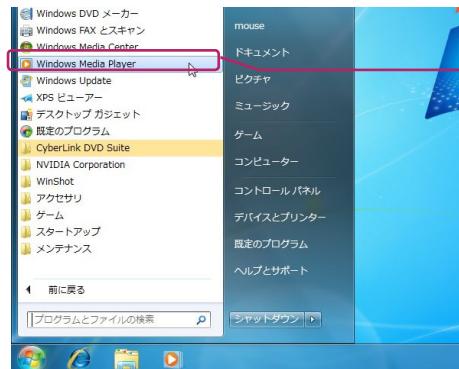
ワンポイント

音楽 CD が自動的に再生しない場合は

音楽 CD を光学ドライブに挿入しても、自動的に再生されない場合は、Windows Media Player を起動し、「再生」メニューから [DVD、VCD、または CD オーディオ] をクリックすれば、音楽 CD の再生が始まります。

音楽 CD を手動で再生

step 1 Windows Media Player を起動する



[すべてのプログラム] から、[Windows Media Player] をクリック

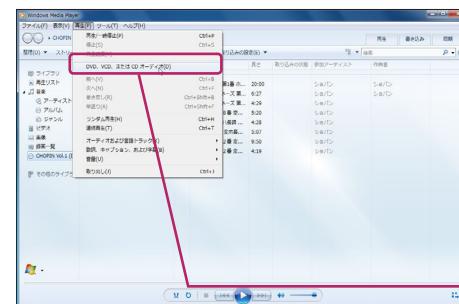
テクニック

曲をスキップする
音楽 CD の再生中に、次の曲にスキップしたい場合は、[次へ] ボタンを押します。



▲ [次へ] ボタンをクリックすると、次の曲にスキップする

step 2 [DVD、VCD、またはオーディオ] をクリック



[Windows Media Player] を起動する

音楽 CD が光学ドライブに入っている状態とします

[再生] メニューから [DVD、VCD、またはオーディオ] をクリック

step 3 音楽 CD の再生が開始される



音楽の再生が自動的に始まります

40

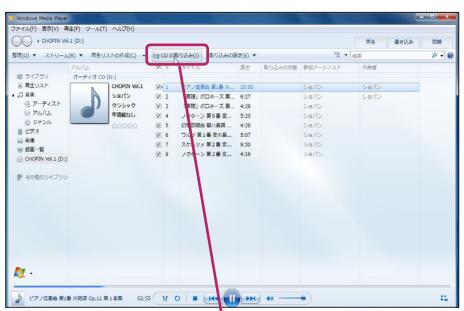
音楽 CD をパソコンに取り込む

音楽 CD の音楽データをパソコンに取り込むことにより、その後は音楽 CD がなくても、パソコン上で音楽の再生を行うことができます。

- ✓ 音楽 CD をパソコンに取り込む
- ✓ 音楽 CD を取り込む際の設定

音楽 CD をパソコン上にコピーする

step 1 Windows Media Player を起動



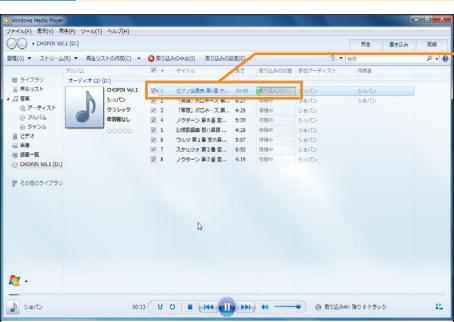
1 音楽 CD を光学ドライブに挿入しておく

2 [CD の取り込み] をクリックする

ワンポイント

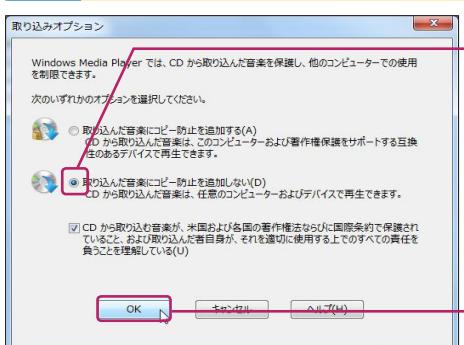
音楽データのコピー
[取り込み] を行うと音楽 CD のデータは WMA 形式でパソコン上に保存されます。保存された WMA ファイルは、CD-R/RW に書き込み事も可能です。

step 3 音楽の取り込みが開始される



音楽の取り込みが開始されます

step 2 コピー防止に関する設定を選択する



1 [取り込んだ音楽にコピー防止を追加しない(D)] をクリックして選択

2 [OK] をクリック

ワンポイント

WMA ファイルとは
Windows Media Player で作成される WMA ファイルは、音楽データの圧縮ファイルです。高音質を保ったまま、ファイルサイズを圧縮できるようになっています。

step 4 音楽 CD のコピーが完了する



コピーが完了した曲は、「ライブラリに取り込み済み」と表示されます

テクニック

音楽を取り込む際の設定

[ツール] メニュー → [オプション] をクリック → [音楽の取り込み] タブより、音楽を取り込む際の設定を行なうことができます。



① [変更]
取り込んだ音楽を保存する場所を変更します

② [形式]
音楽を取り込むファイル形式を選択します

③ [取り込んだ音楽を保護する]
取り込んだ音楽に、コピー防止機能を付与します。

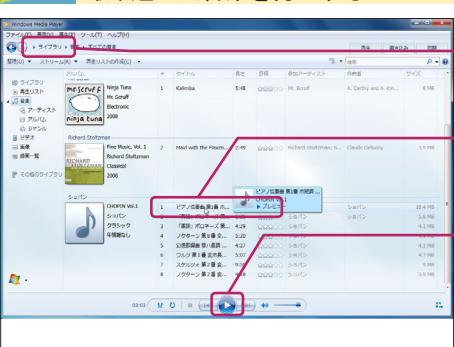
④ [CD の取り込みを自動的に開始する]
CD が挿入された時点での音楽の取り込みを開始するかどうかを設定します。

⑤ [取り込み後に CD を取り出す]
取り込みが完了した時点で、CD を自動的に排出するかどうかを設定します。

⑥ [品質]
取り込む音楽の品質を、スライダーで設定します。

取り込んだ音楽を再生する

step 1 取り込んだ音楽を再生する



1 [ライブラリ] をクリック

2 再生したい曲を選択

3 [再生] ボタンを押す

音楽が再生されます

41

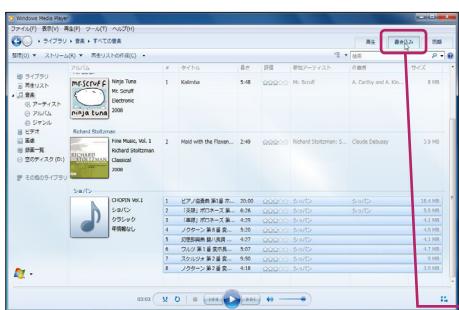
音楽を CD-R にコピーする

Windows Media Player を使って、取り込んだ音楽を CD-R に書き込むことが出来ます。

- ✓ 取り込んだ音楽を CD-R にコピーする
- ✓ 書き込み後にディスクを取り出す
- ✓ 書き込み後にディスクを取り出す

音楽をパソコンから CD-R にコピーする

step 1 Windows Media Player を起動



空の CD-R を、光学ドライブに挿入しておきます

[書き込み] をクリック

注意

CD-R を事前にセットしておく

CD の書き込み機能を使う場合は、事前に空の CD-R/RW を挿入しておいてください。

テクニック

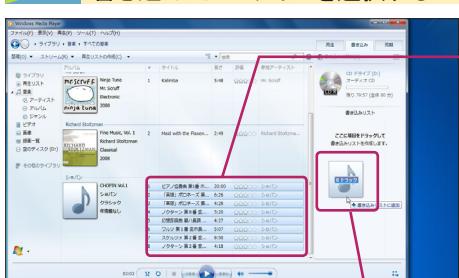
書き込み後にディスクを取り出す

CD 書き込み完了後に、自動的にディスクを取り出したい場合は、[書き込み] タブの右上にある▼をクリックし、[書き込み後にディスクを取り出す] にチェックを入れます。



▲ [書き込み後にディスクを取り出す] にチェックを入れる

step 2 書き込みたいファイルを選択する



1 CD-R に書き込みたいファイルを選択し

2 [書き込みリスト] の領域までファイルをドラッグする

step 3 書き込みを開始する



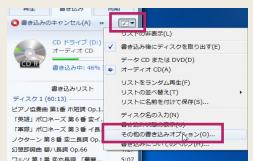
[書き込みリスト] 欄に、ドラッグしたファイルが追加されます。

[書き込みの開始] をクリック

テクニック

書き込みの詳細設定

書き込みを行う際の詳細設定を行うには、[書き込み] タブの下にある▼をクリックし、[その他のオプション] をクリックします。ここでは、書き込みの速度、ボリューム調整、録音の品質の設定等が行えます。



▲ [その他のオプション] をクリック



書き込みが開始されます

step 4 CD の書き込みが完了する。



書き込みが完了しました

▲ 設定を行い、[OK] をクリック

42

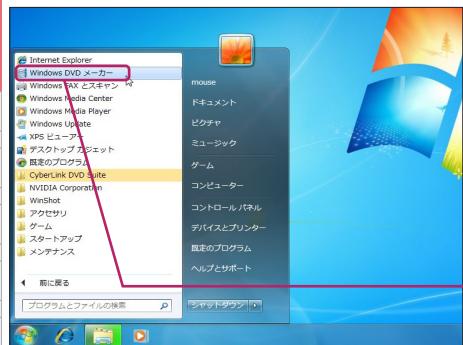
DVDにビデオファイルを書き込む

Windows DVD メーカーを使用すれば、パソコン上にある動画ファイルを市販のDVDプレーヤーで再生できる形式で書き込むことが出来ます。

- Windows DVD メーカーで動画を書き込む
- DVD 書き込みの設定

Windows DVD メーカーでビデオ DVD を作成する

step 1 Windows DVD メーカーを起動する



空のDVD-R メディアを光学ドライブに挿入します

[すべてのプログラム]から、[Windows DVD メーカー]をクリックする

ワンポイント

DVD ビデオファイル
DVD にMpeg等の動画ファイルを直接書き込んだだけでは、市販のDVDプレーヤーなどで動画を再生することは出来ません。Windows DVD メーカーを使用して、動画ファイルを一般のDVDプレーヤーでも再生できる形式に変更して書き込む必要があります。

テクニック

一度追加したファイルを削除するには。

削除したい項目を選択し、[項目を削除]ボタンをクリックすることで、一度追加したファイルを削除することができます。なお、一度DVDに書き込みが完了してしまった項目は、削除することが出来ないので注意しましょう。

Windows DVD メーカーが起動した

[項目の追加]をクリック

step 2 Windows DVD メーカーが起動した



step 3 DVD に書き込む動画ファイルを選択



step 4 項目が追加されました



選択したファイルが、項目に追加された

[次へ]をクリック

テクニック

DVD 書き込み時の設定
動画をDVDに書き込む際の設定は、[オプション]ボタンをクリックすることにより行うことができます。



▲ [オプション]をクリックする

step 5 Windows DVD メーカー



動画のプレビューが表示される

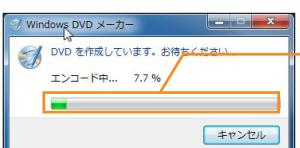
1 メニューのスタイルを選択する

2 [書き込み]をクリック

テクニック

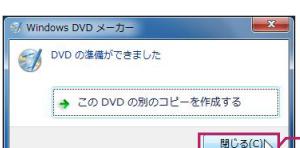
- ① DVD の再生設定
- ② 縦横比
- ③ ビデオ形式
- ④ DVD の書き込み速度

step 6 DVD に書き込みが開始される



DVD に書き込みが開始されます

step 7 ディスクに書き込まれました



DVD に書き込みが完了しました

[閉じる]をクリック

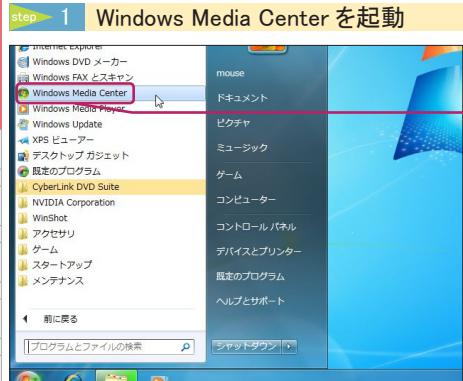
43

Windows Media Center の起動

Windows Media Center は、動画、音楽、写真の再生や、TV の録画など、マルチメディアを容易に扱うことが出来るプログラムです。

- Windows Media Center の起動
- Windows Media Center の終了

Windows Media Center を起動する



step 1 Windows Media Center を起動

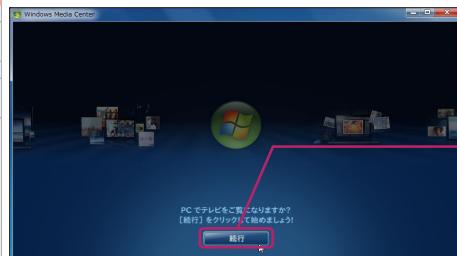
[すべてのプログラム] から、[Windows Media Center] をクリック

ワンポイント

Windows Media Center とは

マウスやキーボードだけでなく、リモコン入力にも標準で対応しており、DVDなどのデジタルメディアをリモコンで操作できるようになっているソフトウェアです。

step 2 セットアップ画面が表示される



初回起動時には、セットアップ画面が表示されます

1 [続行] をクリック

step 3 推奨設定をクリック



1 「推奨設定」をクリック

自動的に設定が行われます

ワンポイント

リモコンの使用

Windows Media Center をリモコンで操作するには、専用のリモコンキットが必要です。

Windows Media Center の画面構成



1 12:08

2

EXTRAS
ピクチャ・ビデオ
ミュージック
映画
Media Center テレビ
録画一覧
タスク

① Windows7へ戻る

Windows Vista のデスクトップ画面に戻ります

② メニューバー

各種操作のメニュー項目です

ワンポイント

TV の視聴には、TV チューナーボードが必要

Windows Media Center で TV 視聴するには、別途 TV チューナーボードが必要です。TV チューナーボードが内蔵されていないパソコンでは、Windows Media Center を使用して、TV 視聴することが出来ません。

SECTION
44

Windows Media Centerで音楽を再生する

Windows Media Centerを使って、音楽を再生してみましょう

- Windows Media Centerで音楽を再生する
- 音楽ファイルの検索
- 再生待ちリスト

Windows Media Centerで音楽を再生する

step 1 Windows Media Centerを起動



[ミュージック]をクリック

テクニック

すべて再生
[ミュージック]メニューにある、「すべて再生」をクリックすることで、音楽ライブラリの中にある音楽ファイルをすべて再生することができます。



▲[すべて再生]をクリック

step 2 [音楽ライブラリ]をクリック



[音楽ライブラリ]をクリックする

step 3 音楽ライブラリが開く



音楽ライブラリが開き、アルバムの一覧が表示される

再生したいアルバムをクリック

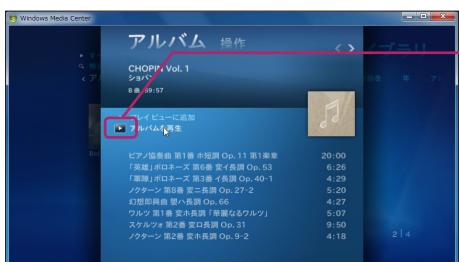
テクニック

音楽の検索
[検索]をクリックすることで、音楽ファイルを検索することができます。



▲[検索]をクリック

step 4 アルバムを再生する



[アルバムを再生]をクリック

▲検索する文字列を入力し、検索する

step 5 アルバムの再生が開始される



アルバムの再生が開始されます。

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

45

Windows Media Centerで動画を再生する

Windows Media Centerを使って、動画を再生してみましょう

- Windows Media Centerで動画を再生する。
- DVDの再生
- ビデオの背景色の設定

Windows Media Centerで動画を再生する

step 1 [ピクチャ・ビデオ]メニューを開く



Windows Media Centerを起動します

[ピクチャ・ビデオ]メニュー内の「ビデオライブラリ」をクリック

テクニック

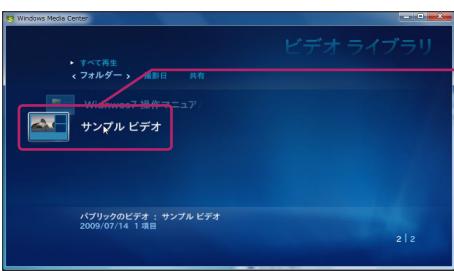
DVDの再生

Windows Media Centerでは、動画ファイルの直接再生だけでなく、DVDの再生も行うことができます。DVDをあらかじめパソコンに挿入しておき、「[テレビ・映画]」メニュー⇒[DVDの再生]をクリックすることで、DVDの再生を行なうことができます。



▲[DVDの再生]をクリック

step 2 開きたいフォルダを選択する



開きたい動画ファイルがあるフォルダをクリックする



▲DVDが再生される

step 3 再生したい動画をクリックする



再生したい動画をクリックする

テクニック

ビデオの背景色の設定
ハイエンドのプラズマディスプレイでビデオを再生中に画面の焼き付きを防止するために、背景色を変更することができます。焼き付きまたは残像は、変化しない画像が画面に長時間表示したままになると発生します。新しい画像を表示した後も、前の画像の残像がうっすらと見える場合があります。

設定を行うには [start] ⇒ [タスク] ⇒ [設定] ⇒ [全般] ⇒ [視聴覚効果] ⇒ [ビデオの背景色] の順にクリックします

ビデオの背景色については、[-]または[+]をクリックして背景色を変更します。既定の色は黒ですが、色の範囲は90%のグレーから10%のグレーおよび白です。



▲ビデオの背景色の設定

step 4 選択した動画が再生される



選択した動画が再生されました

step 5 動画の再生が完了する。



動画が最後まで再生されると、メニューが表示されます

[削除]をクリックすると、その動画が削除されます

[再生]をクリックすると、同じ動画をもう一度再生します

46

Windows Media Centerで写真を閲覧する

Windows Media Centerを使って、写真を閲覧することも出来ます。

- Windows Media Centerを使って写真を閲覧する
- スライドショー
- 画像ライブラリの一覧表示方法

Windows Media Centerで写真を閲覧する

step 1 画像ライブラリを開く

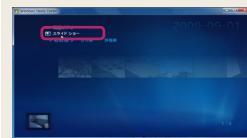


Windows Media Centerを起動します

[ピクチャ・ビデオ]メニュー内の[画像ライブラリ]をクリックする

テクニック

スライドショー表示
スライドショー表示させたい画像のフォルダを開いておき、「[スライドショー]」をクリックすると、そのフォルダ内の画像がスライドショー表示されます。



▲[スライドショー]をクリックする

step 2 開きたい画像の一覧を選択する



表示したい画像フォルダをクリックする

step 3 表示したい写真をクリックします



表示したい写真をクリックします

テクニック

画像ライブラリの一覧表示方法

画像ライブラリに表示される画像一覧は、「[フォルダ]」「[タグ]」「[撮影日]」の基準で表示させることができます。表示方法の切り替えは、画面上部のメニューで行います。



▲[フォルダ]で一覧表示



▲[タグ]で一覧表示



▲[撮影日]で一覧表示

CHAPTER 8

Windows の 各種設定

本章では、Windows の各種設定について説明します。

47 ●画面の解像度を設定する	116
48 ●デスクトップの背景を設定する	118
49 ●スクリーンセーバーを設定する	120
50 ●日付と時刻を設定する	122
51 ●デスクトップにショートカットを作成する	124
52 ●ユーザー アカウントを追加する	126
53 ●ユーザー アカウントの設定を変更する	130
54 ●ファイルやフォルダの共有	132

47

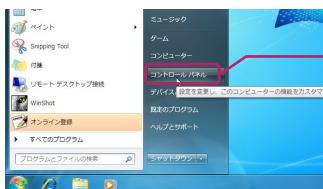
画面の解像度を設定する

画面の解像度を上げることにより、より多くの項目を画面に表示することが出来ます。

✓ 画面の解像度を変更する

画面の解像度と色数を変更する

step 1 コントロールパネルを開く



[スタート]メニューより[コントロールパネル]を開く

step 2 [コントロールパネル]が開く



[画面の解像度の調整]をクリック

☛ テクニック

画面の設定を変更する別の方法

デスクトップの何もないところで右クリックを押すと、メニューが表示され、「個人設定」⇒「画面の設定」をクリックすることでもをクリックすることで画面の設定変更を行うことができます。



▲[個人設定]をクリック

step 3 解像度を設定する



[解像度]スライダーで解像度を設定する

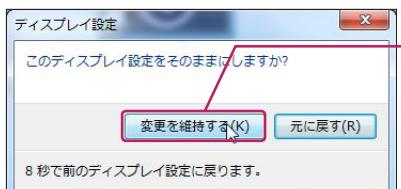
step 4 画面の色数を設定する



1 [色]メニューから、画面の色数を設定する

2 [適用]をクリック

step 5 確認画面が表示されるので、変更を確定する



[変更を維持する]をクリックする

step 6 画面の解像度と色数が変更された



画面の解像度と色数が変更されました

ワンポイント

画面の解像度

解像度には、VGA(640x480)、SVGA(800x600)、XGA(1024x768)、SXGA(1280x1024)等があります。最大解像度は、パソコンおよびディスプレイの性能によって決まりますので、性能により選択できない解像度もあります。

48

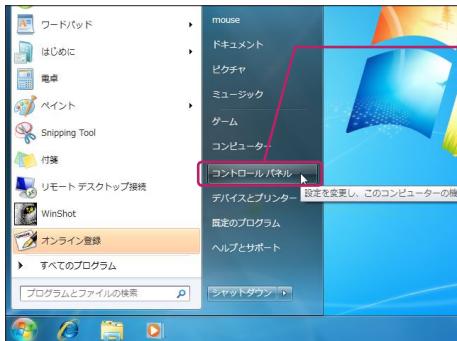
デスクトップの背景を設定する

Windows7のデスクトップ背景は、自分の好みに設定することが出来ます。自分で取った写真を背景に設定することも出来ます

- ✓ デスクトップの背景を変更する
- ✓ 好みの画像を背景に設定する
- ✓ 背景の表示位置

デスクトップの背景を設定する

step 1 コントロールパネルを開く

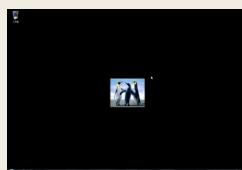


[スタート]メニューより[コントロールパネル]を開く

ワンポイント

背景の表示位置

背景の画像の表示位置は、画面中央に画像を一枚表示する[中央に表示]、画面全体に同じ画像を羅列する[並べて表示]、一枚の画像を拡大して画面全体に表示させる[拡大して表示]から選択することが出来ます。



▲[中央に表示]



▲[並べて表示]



▲[拡大して表示]

step 2 [デスクトップの背景を変更]をクリック



[デスクトップの背景の変更]をクリック

step 3 背景に設定する画像を選択する



1 背景に設定したい画像をクリック

step 4 背景の画像が変更された



デスクトップの背景が変更されました。

テクニック

好きな画像を背景に設定する

[参照]ボタンをクリックし、好きな画像を選択することで、その画像をデスクトップの背景として設定できます



▲[参照]をクリックし、好きな画像があるフォルダを選択



▲背景とする画像を選択

選択する画像のフォルダを変更する

step 1 画像フォルダの変更



1 [画像の場所]をクリック

2 フォルダを選択する

49

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーとは、コンピュータを使用していない間、画面を黒くしたり、簡単なアニメーションを表示するソフトウェアです。

- ✓ スクリーンセーバーを変更する
- ✓ スクリーンセーバーにパスワードを設定する
- ✓ 電源プランの選択

スクリーンセーバーを変更する

step 1 コントロールパネルを開く



1 [デスクトップのカスタマイズ] をクリック



2 [スクリーンセーバーの変更] をクリック

ワンポイント

スクリーンセーバーは見て楽しむものもある

スクリーンセーバーには、画面の焼付けを防止すると言う本来の目的のほか、見て楽しむものもあります。Windows Vista 標準のスクリーンセーバーのほか、インターネットなどでもスクリーンセーバーをダウンロードすることが出来ます。

テクニック

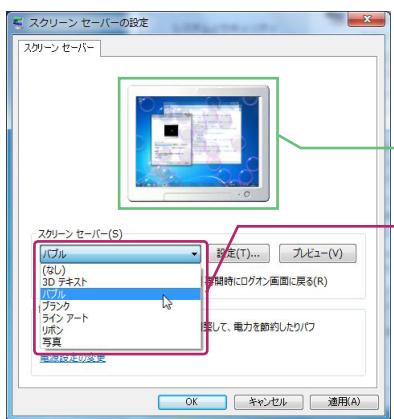
再開時にログオン画面に戻る

[再開時にログオン画面に戻る] にチェックを入れることで、スクリーンセーバーから復帰した際に、ログオン画面に戻ることが出来ます。



▲[再開時にログオン画面に戻る]にチェックを入れる

step 3 [スクリーンセーバーの設定] 画面が開く



[スクリーンセーバーの設定] 画面が開く

ここにプレビューが表示されます

1 好みのスクリーンセーバーをクリック

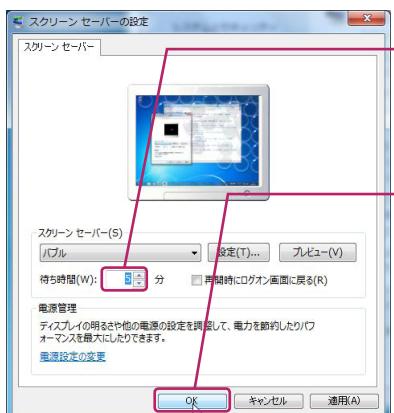
ワンポイント

電源プランの選択

スクリーンセーバーを起動する代わりに、モニタの電源を切る設定をすることも出来ます。[電源設定の変更] ⇒ [電源プランの選択] より、お好みの電源プランを選択しましょう。



▲[電源設定の変更]をクリック



2 スクリーンセーバーに移行する待ち時間を設定する

3 [OK] をクリックする

設定された待ち時間の間、パソコンを何も操作しないと、スクリーンセーバーが表示されます



▲電源プランを選択する

50

日付と時刻を設定する

パソコンの内蔵時計はアプリケーションの動作を制御する上でも重要なものです。正しい日付と時刻を設定しましょう

- 日付と時刻の設定
- インターネット経由で日付と時刻を設定する
- タイムゾーンの設定

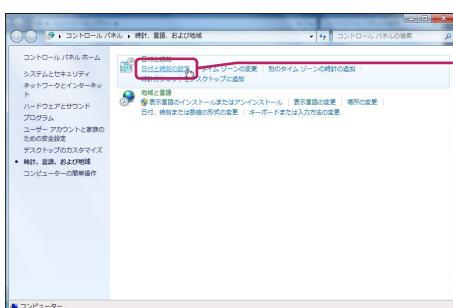
日付と時刻の設定

step 1 コントロールパネルを開く



[コントロールパネル]を開く

1 [時計・言語および地域]をクリックする



2 [日付と時刻の設定]をクリックする

テクニック

日付と時刻を設定する方法

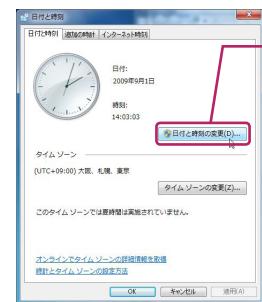
デスクトップ画面右下の通知領域に表示されている時計をダブルクリックしても、「日付と時刻の設定」画面が表示されて、日付と時刻を設定することが出来ます。

注意

内蔵時計は正しい設定が必要

パソコン内蔵時計は、ファイルの作成日時やメールの送信日時などを管理するものなので、正しく設定する必要があります。

step 3 [日付と時刻]の画面が開く



[日付と時刻の変更]をクリック

ワンポイント

タイムゾーン

日本でパソコンを使用する場合は、「東京、大阪、札幌」に設定し、海外で使用する場合は、タイムゾーンを現在の年に設定しましょう。



▲[タイムゾーンの変更]をクリック

step 4 [日付と時刻の設定]の画面が開く



1 カレンダーから日付を選択

2 時刻を入力

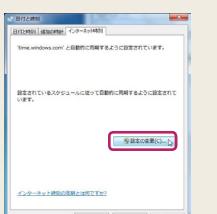
3 [OK]をクリックする

▲タイムゾーンを変更する

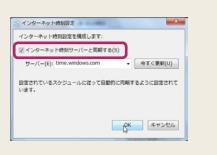
テクニック

インターネットを使って日時を調整する

[インターネット時刻]タブ⇒[インターネット時刻サーバーと同期する]にチェックを入れれば、正しい時刻をインターネット経由で常に調整可能です。



▲[設定の変更]をクリック



▲[インターネット時刻サーバーと同期する]にチェック

step 5 日付と時刻が設定された



日付と時刻が設定されました

51

デスクトップにショートカットを作成する

Windows7の初期状態では、デスクトップにはごみ箱のみ表示されています。デスクトップにアイコンを追加してみましょう。

- ✓ デスクトップに各種アイコンを追加する
- ✓ アプリケーションのショートカットを作る
- ✓ ショートカットの名前を変える

デスクトップにアイコンを追加する

step 1 コントロールパネルを開く



◆ テクニック

アプリケーションのショートカットを作る

アプリケーションのショートカットを作るには、アプリケーションがインストールされているフォルダを開き、アプリケーション本体のファイルをデスクトップにドラッグします。メニューが表示されるので、その中から「[ショートカットをここに作成]」を選択すると、ショートカットが作成されます。また、アプリケーション本体のファイルの上で右クリックし、メニューの中から「[送る]」⇒「[デスクトップ(ショートカットの作成)]」を選択しても、ショートカットを作成することができます。

ワンポイント

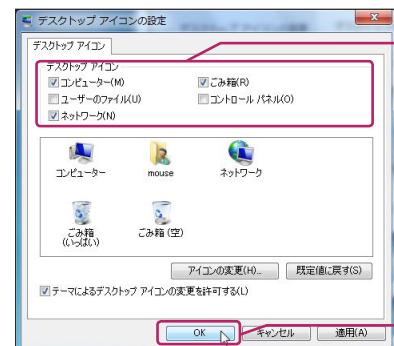
ショートカットアイコン

ショートカットアイコンの左下には、上向きの矢印が表示されるので、通常のアイコンとここで区別します。

step 2 [デスクトップアイコンの変更]をクリック



step 3 追加するアイコンを選択する



step 4 デスクトップに選択したアイコンが表示された



◆ テクニック

ショートカットの名前を変える

ショートカットアイコンの上で、右クリックし、「名前の変更」をクリックすることで、ショートカットアイコンの名前を変更することができます。



◆ テクニック

ファイルやフォルダーのショートカット

アプリケーションだけではなく、ファイルやフォルダーも同様の手順でショートカットを作成することができます。ファイルがアプリケーションに関連付けられている場合は、ショートカットをダブルクリックするだけでアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

52

ユーザーアカウントを追加する

複数人でパソコンを使用する場合は、ユーザーアカウントを追加する必要があります。パスワードの設定もここで行います。

- ユーザーアカウントを追加する
- パスワードを設定する
- ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントの追加

step 1 コントロールパネルを開く



コントロールパネルを開きます

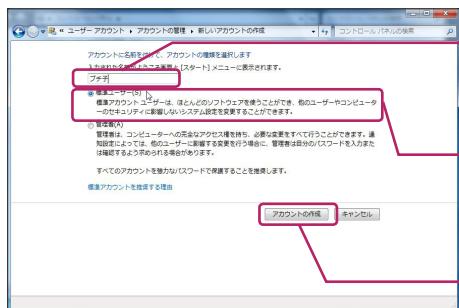
[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリック

step 2 [アカウントの管理]画面が開く



[新しいアカウントの作成]をクリック

step 3 [新しいアカウントの作成]画面が開く



1 新しいアカウント名を入力

2 アカウントの種類を選択

3 [アカウントの作成]をクリックします

ワンポイント

ユーザーアカウントの種類について

ユーザーアカウントには、[標準ユーザー]と[管理者]があります。[標準ユーザー]は、Windows Vistaのほとんどの機能を実行できますが、一部他のユーザーにも影響を与えるような操作・変更については、[管理者]にしか行えないものがあります。

step 4 新しいアカウントが作成された



新しいアカウントが作成されました

ワンポイント

[管理者]を2名以上設定することも可能。

本来、システムの整合性を保つために、重要な変更を行うことが出来る[管理者]は1名であることが望ましいですが、[管理者]を2名以上に設定することも可能です。

ゲストアカウントの作成

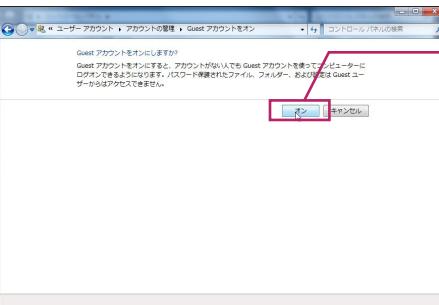
step 1 「Guest」をクリック



ワンポイント

Guest アカウント
Guest アカウントは、そのパソコン上にユーザー アカウントを持たない人が、一時的にパソコンにログインして使用するためのアカウントです。Guest アカウントの権限は、標準ユーザーとほぼ同じですが、パスワード保護されたファイル、フォルダ、設定などへのアクセスが制限されます。Guest アカウントでのログインを可能にするには、ここで示した方法で、Guest アカウントをオンにしておく必要があります。

step 2 Guest アカウントをオンにする



[オン]ボタンをクリック

Guest アカウントが使用可能な状態になった

step 3 Guest アカウントがオンになった



パスワードの設定

step 1 パスワードを設定するアカウントを選択する



ワンポイント

パスワード
パスワードを設定すると、ログオンする際にパスワードの入力を要求されます。自分のアカウントを、他人に勝手に使用されることを防ぐことが出来ます。

step 2 パスワードの作成を選ぶ



[パスワードの作成]をクリック

ワンポイント

パスワードのヒント
パスワードのヒントは、パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなものを設定します。ただし、パスワードのヒントはどのユーザーでも見ることが出来るので、簡単にパスワードを予測できるようなヒントは避けたほうがよいでしょう。

step 3 パスワードの設定を行う



1 パスワードを入力する

2 確認のため同じものをもう一度入力する

3 パスワードのヒントを入力する

4 [パスワードの作成]をクリック

53

ユーザーアカウントの設定を変更する

ユーザーアカウントの設定は、後から変更することも可能です。セキュリティ保護のため、定期的にパスワードを変更することは重要です。

- ユーザーアカウントの設定を変更する
- パスワード・アカウントの削除
- 画像の変更

パスワードを変更する

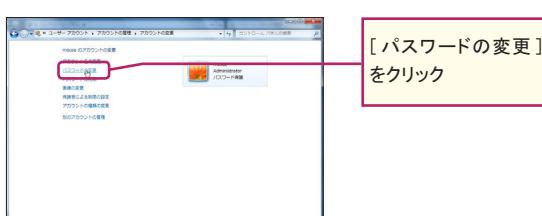
step 1 コントロールパネルを開く



step 2 変更したいユーザーアカウントを選択する



step 2 変更したいユーザーアカウントを選択する



テクニック

パスワードを削除する
ユーザーアカウントの画面で、「パスワードを削除する」をクリックすると、パスワードを削除することができます。

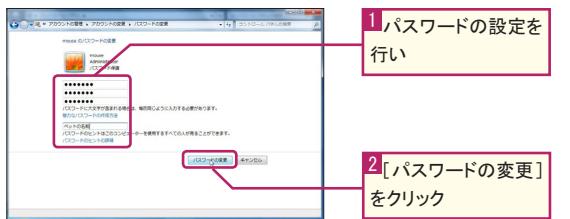


テクニック

アカウントを削除する
ユーザーアカウントの画面で、「アカウントの削除」をクリックすると、アカウントを削除することができます。アカウントの削除は、管理者にしか行なうことが出来ません。



step 4 新しいパスワードの設定を行う

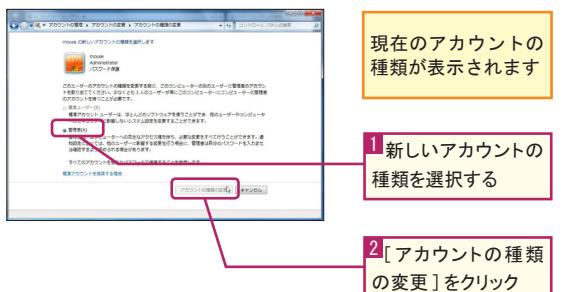


アカウントの種類の変更

step 1 [アカウントの種類の変更]をクリック



step 2 新しいアカウントの種類を選択する



ワンポイント

標準ユーザーの制限
コンピューターの管理者は、すべてのユーザーのユーザーアカウント情報を変更できますが、標準ユーザーは自分自身の情報しか変更できません。

テクニック

画像の変更

ログイン画面で表示される、ユーザーごとの画像を変更することもできます。「[画像の変更]」をクリックし、一覧の画像の中から好きな画像を選択します。



▲ [画像の変更]をクリック



54 ファイルやフォルダーの共有

複数人でパソコンを使用する場合、全ユーザーがアクセスできるファイル、フォルダーと、本人しかアクセスできないファイルやフォルダがあります

✓ ファイル・フォルダーの共有設定

ファイル・フォルダの共有設定

step 1 共有したいフォルダを選択



共有したいフォルダを選択する

ワンポイント

標準ユーザーも共有フォルダー、ファイルにアクセスできる

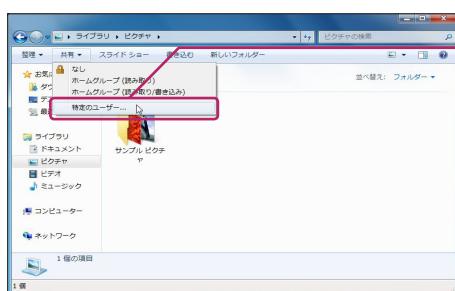
共有設定がされていれば、アカウントの種類に関係なくそのファイル・フォルダにアクセスすることができます。

step 2 [共有]ボタンをクリック



[共有]ボタンをクリック

step 3 [特定のユーザー]をクリックする



1 [特定のユーザー]をクリックする

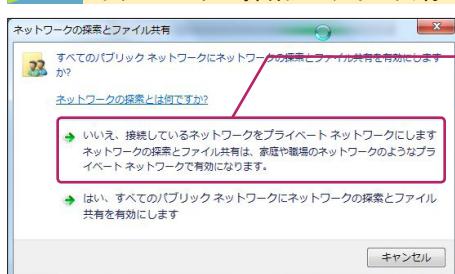
step 4 共有したいユーザー名を選択する



1 ユーザー名を選択する

2 [共有]をクリックする

step 5 ネットワークの探索とファイル共有の選択



[いいえ、接続している・・・]をクリック



[終了]をクリック

CHAPTER 9

Windows の メンテナンス

本章では、セキュリティーセンターの活用、システムの復元、
ハードディスクのバックアップ操作などについて説明します。

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 55 ● アクションセンターについて | 136 |
| 56 ● Windows Updateについて | 138 |
| 57 ● Windows Defenderについて | 140 |
| 58 ● システムの復元を利用する | 142 |
| 59 ● ハードディスクを最適化する | 144 |

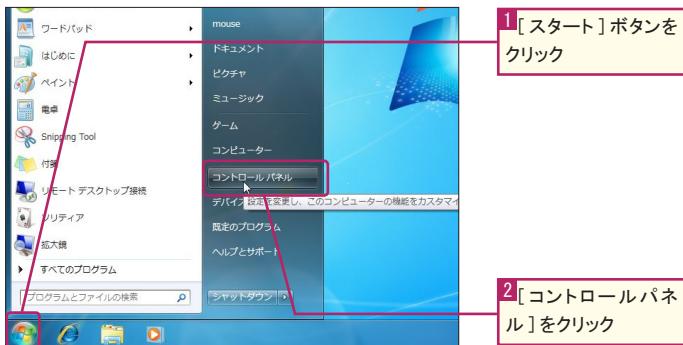
55 アクションセンターについて

アクションセンターは、パソコンをウィルス、スパイウェアなどの脅威から保護するための機能の中核です。

- ✓ アクションセンターを起動する
- ✓ アクションセンターの概要
- ✓ アクションセンターの各項目

アクションセンターを起動する

step 1 コントロールパネルを起動する



ワンポイント

アクションセンターの設定の変更
各メッセージのON/OFFなど、アクションセンターの設定の変更を行うには、「アクションセンターの設定の変更」をクリックします。



step 2 コントロールパネルが起動する



step 3 [アクションセンター]をクリック



ワンポイント

セキュリティセンターの各項目

セキュリティセンターの中には以下の項目があります。

①ネットワークファイアウォール

Windowsファイアウォールの有効・無効を表示します。

②WindowsUpdate

Windowsアップデートの実行、更新の確認、設定を行います。

③Windows Defender

Windows Defenderの有効・無効を表示します

④インターネットセキュリティ設定

インターネットのセキュリティ情報を表示します。

⑤ユーザー アカウント制御

ユーザー アカウント制御(UA C)の設定を行います。

⑥ネットワークアクセス保護

ネットワークアクセス保護の有効／無効を表示させます。

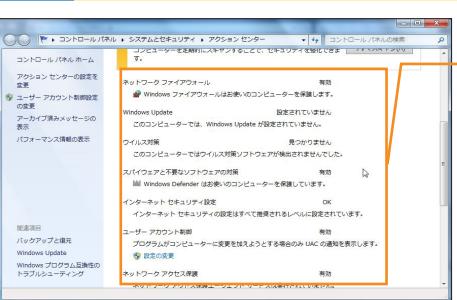
step 4 [セキュリティセンター]が起動する



↓矢印をクリック

詳細を確認したい項目の右にある↓矢印をクリック

step 5 項目の詳細が表示されます。



項目の詳細が表示されます

56

WindowsUpdateについて

WindowsUpdateは、Windowsの重要な更新などがあった場合にインターネット経由で常にWindowsの状態を最新に保つための機能です。

- WindowsUpdateを行う
- WindowsUpdateの設定
- 更新履歴の表示

WindowsUpdateを行う

step 1 [アクションセンター]を起動する



[セキュリティセンター]を起動します

[Windows Update]の右側にある[設定の変更]をクリックする

テクニック

Windows Updateの設定
Windows Update画面において、[設定の変更]をクリックすることで、WindowsUpdateの動作設定を変更することが出来ます。ここでは、Windows Updateの自動更新の頻度、更新プログラムのインストールの方法などを設定することが出来ます。

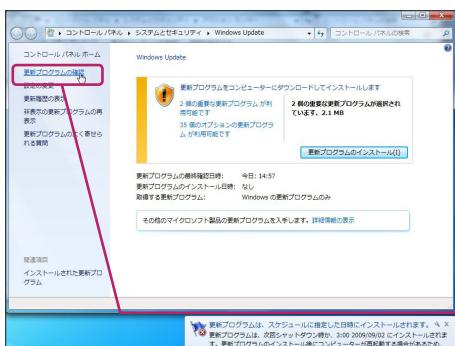


▲[設定の変更]をクリック



▲設定を変更し、[OK]をクリックする

step 2 [Windows Update]の画面が開く



WindowsUpdateの画面が開く

[更新プログラムの確認]をクリック

step 3 更新プログラムの確認を行う



更新プログラムが確認されました。

[更新プログラムの確認]をクリックする

ワンポイント

ウィルス対策

ウィルス対策ソフトは、Windows Vistaには付属していません。別途市販品を用意し、インストールする必要があります。

step 4 更新プログラムのダウンロード、インストールが開始



更新プログラムのダウンロード、インストールが開始されます

テクニック

更新履歴の表示
[更新履歴の表示]をクリックすることにより、今までのWindows Updateにて更新した内容を一覧で表示することができます。



▲[更新履歴の表示]をクリック

step 5 更新プログラムのインストールが完了した



更新プログラムのインストールが完了し、Windowsが最新の状態になりました



▲今までの更新履歴が一覧で表示される

57

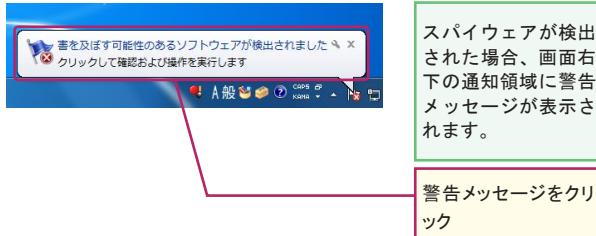
Windows Defenderについて

Windows Defenderは、スパイウェア等の感染するのを防ぐためのプログラムです。Windows Defenderを使用してスパイウェアを削除してみましょう。

- スパイウェアの検出と削除を行う
- スパイウェアとは
- スキャンの種別について

スパイウェアの検出および削除を行う

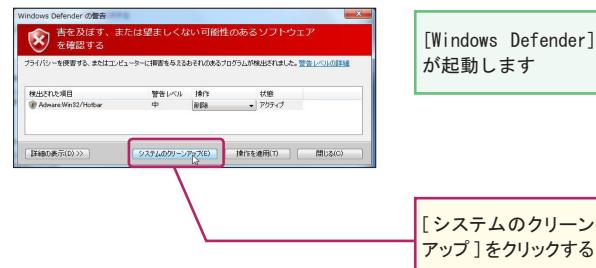
step 1 警告メッセージが表示される



スパイウェアが検出された場合、画面右下の通知領域に警告メッセージが表示されます。

警告メッセージをクリック

step 2 [Windows Defender] が起動する



[Windows Defender] が起動します

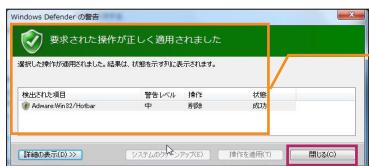
[システムのクリーンアップ] をクリックする

step 3 削除が開始される



スパイウェアの削除が開始されます。

step 4 削除が完了する。



スパイウェアの削除が完了し、結果が表示されます。

[すべて削除] をクリック

ワンポイント

検出されたスパイウェアの処理

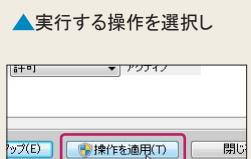
Windows Defenderにて検出されたスパイウェアに対しては、以下の操作を選択して行なうことができます。

① [削除]
スパイウェアをコンピュータから完全に削除します

② [検疫]
Windows Defenderでスパイウェアが検疫されると、そのスパイウェアはコンピュータ上の別の場所に移動され、ユーザーが復元するか、またはコンピュータから削除するまで実行されなくなります。

③ [許可]
Windows Defenderの許可済み一覧にソフトウェアを追加し、コンピュータでの実行を許可します。

操作の選択方法は、下図のとおりです。



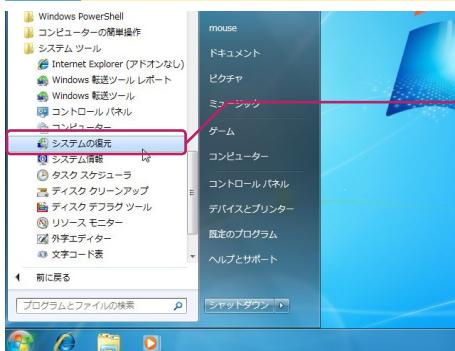
58 システムの復元を利用する

何らかの設定変更後に、Windows の動作が不安定になった場合は、設定変更前の時点まで「システムの復元」を行うことで回復することができます。

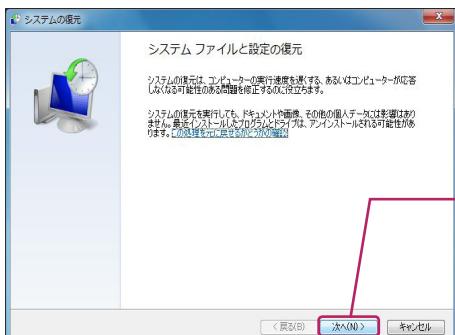
- システムの復元の実行
- 復元されるファイルの種類

システムの復元を実行する

step 1 [システムの復元] の起動



step 2 システムの復元が起動した



ワンポイント

復元ポイントの自動生成

システムの復元に使われる復元ポイントは、Windows7によって自動的に作られます。ドライバの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windowsにとって重要な変更が行われた際は、自動的に復元ポイントが作成されます。

ワンポイント

セーフモードでの復元

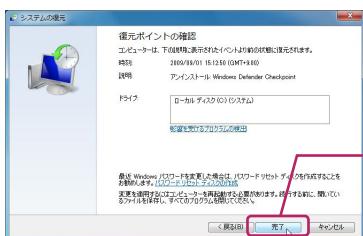
Windows が正常起動しなくなった場合でも、セーフモードなら起動する場合があります。この場合、セーフモードで Windows を起動した後、Windows が正常動作していた時点の復元ポイントまで、システムの復元を行うことで、Windows の破損を修復できる可能性があります。

step 3 復元ポイントを選択する



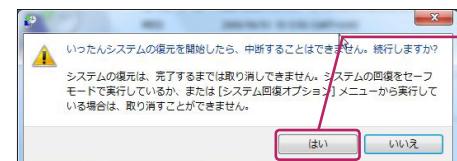
- 1 復元ポイントを選択する
- 2 [次へ] をクリック

step 4 復元ポイントを確定する



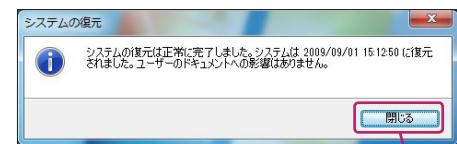
- [復元ポイントの確認] 画面が開く
- [完了] をクリック

step 5 確認メッセージが表示される。



- [はい] をクリック
- システムの復元が開始されます。
- PC が再起動します。

step 5 確認メッセージが表示される。



- 再起動後、システムの復元の完了メッセージが表示されます。
- [閉じる] をクリック

ワンポイント

データファイルは復元されない

システムの復元を行うと、アプリケーション、ドライバ、WindowsUpdate、各種設定などの状態は、復元ポイント時点まで戻りますが、メール、ドキュメントの中にある各種データなどが失われることはあります。

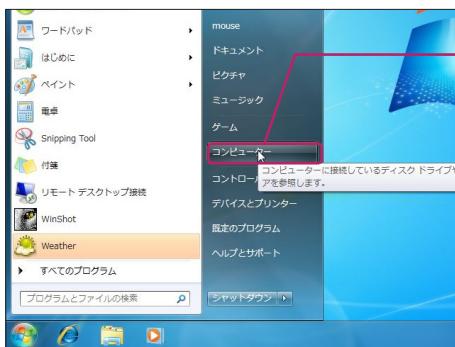
59 ハードディスクを最適化する

ファイルの作成、削除を繰り返していると、ファイルのデータがありこちに分散する「断片化」が発生します。最適化によって「断片化」を解消できます。

- ハードディスクを最適化する
- 最適化の働き
- 最適化のスケジューリング

ハードディスクの最適化を実行する

step 1 「コンピュータ」を開く



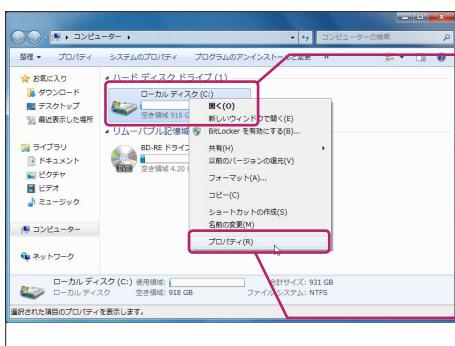
「スタート」メニューから「コンピュータ」をクリックする

ワンポイント

最適化の働き

ファイルの作成、削除を繰り返していると、データがハードディスク上のあちこちに分散してしまう「断片化」が発生し、ハードディスクの読み込みが遅くなってしまいます。ディスクを最適化の実行により、あちこちに分散したファイルを一箇所に集め連続化することで、ハードディスクのアクセススピードを向上することが出来ます。

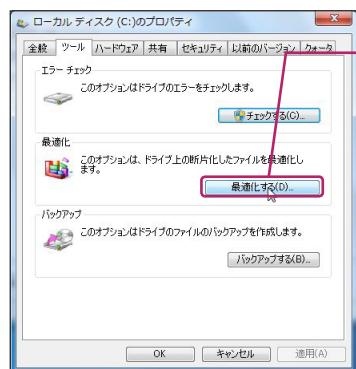
step 2 ハードディスクの「プロパティ」を開く



1 [ローカルディスク] の上で右クリック

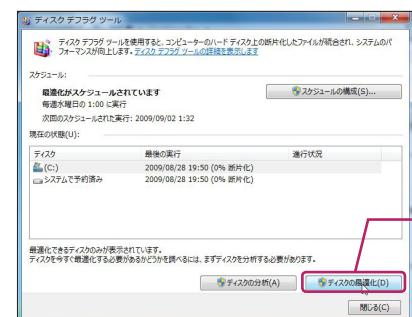
2 「プロパティ」をクリック

step 3 ハードディスクのプロパティ画面が開く



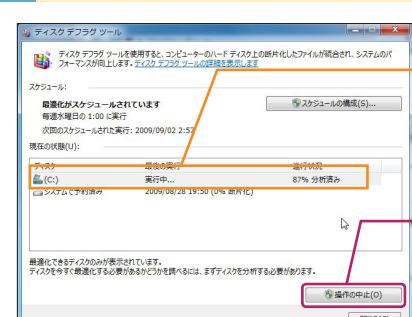
[最適化する] をクリック

step 4 最適化を開始する



[ディスクデフラグツール] が起動する

step 5 最適化が開始される



ハードディスクの最適化が開始された

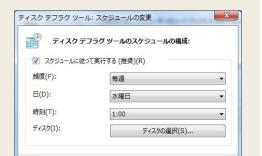
最適化を途中で止めるには、「操作の中止」をクリックする

テクニック

最適化をスケジューリングする
ハードディスクの最適化を定期で自動的に行うように設定することも可能です。[スケジュールの構成] をクリックし、最適化を行うスケジュールを設定しましょう。



[スケジュールの構成] をクリック



最適化のスケジュールを設定し、[OK] をクリック

注意

最適化中はパソコンの操作を行わない

最適化中に、データの書き込みなどを行うと、最適化作業が最初からやり直しになってしまいます。最適化中は、他のパソコン操作を行わないほうがよいでしょう。